

中南米より歸リて

拓殖パンフレット第一輯

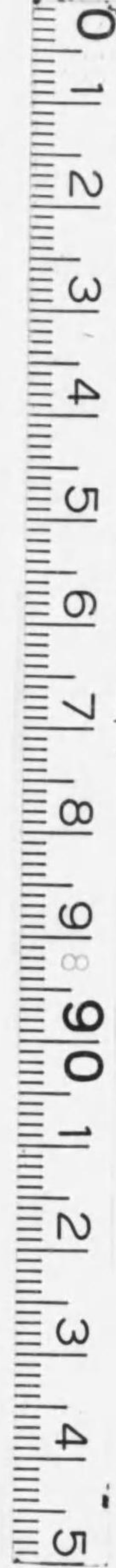
特 249

679

納本

貴族院議員

丸山鶴吉氏速



始



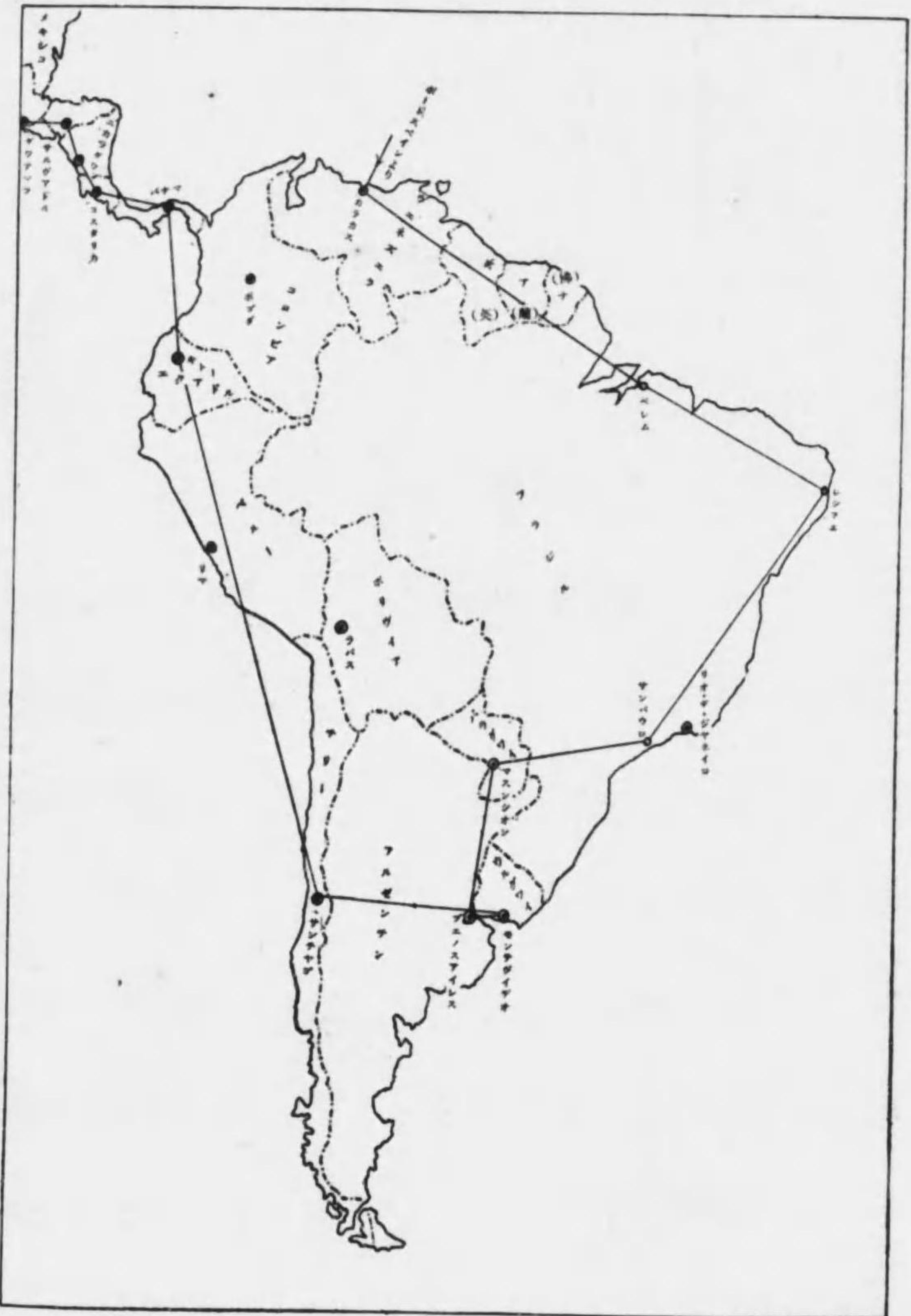
3.0

時 249
679

拓殖パンフレット・第一輯



財團法人 拓殖獎勵館



はしがき

貴族院議員丸山鶴吉氏は、皇紀二千六百年記念萬國博覽會參加勸誘の使命を帯び、中南米各國を歴訪せられ、アメリカ大陸を飛行すること實に三萬哩、無事用務を果し、且つ各國の國情を具さに視察せられ、最近歸朝せられた。この程拓務省の懇請により、中南米視察談を試みられたのであるが、本冊子は同氏の御承諾を得てその速記を刊行するものである。

財團法人 拓殖獎勵館

中南米より歸りて

目次

一 鵬程三萬哩の旅……………	一
二 飛行機の故障で海上に着水……………	七
三 南米の高峰アンデス越え……………	二二
四 キューバの國賓となる……………	一五
五 石油の寶庫ヴェネズエラ……………	一八
六 南米の雄邦ブラジル……………	三三
七 ヴァルガス大統領の印象……………	三五
八 サンパウロの奥地に在留邦人を訪ふ……………	三七
九 ナシヨナリズムの擡頭と第二世の教育問題……………	四三
十 ブラジルの對日好感……………	四八

一 パンパの王者伊藤博士に會ふ……………三
 二 ペルーに於ける沖繩縣人の發展……………五
 三 コスタリカの親日家……………六〇
 附 録……………
 質問應答……………六五

中南米より歸りて

丸山鶴吉氏述

一 鵬程三萬哩の旅

私は昨年四月十九日に横濱を發ちまして、北米のシャトルに五月一日に着きました。それからシカゴ迄汽車で参りましたが、どうも考へますと博覽會の要務でありますし、モウ時也大分迫つて居りますから道中全部飛行機にした方が宜いと考へまして、シカゴからロスアンゼルスに歸りつくまで全部飛行機のリザーヴをしてしまつたのであります。それでシカゴから飛び始めまして、初めて飛ぶ時は夜間飛行でありましたが、シカゴを五月七日の午後七時に立ちまして翌朝の午前六時にフロリダ半島の南端のマイアミに到着しました。翌日發つて僅か二時間ばかりで海を渡つてキューバの首府ハヴァナに到着しました。此處で一週間滞在しまして、キューバを發つてハイチ、サントドミンゴの首府に着水しまして、それからポルトリ

コ、米領の島であります。彼處のサンファンといふ所に一晚泊りました。そこから翌朝發つて西印度列島の上を飛び、英領のトリニダードのポルト・オブ・スペインに参りました。此處に一晚泊りました。此處から今迄飛んで参りました大きな飛行機はその儘ブラジルに参りますので、枝線に入ります小さい飛行機に乗換へまして翌日ヴェネズエラのカラカスに着きました。カラカスに一週間滞在しましてヴェネズエラ政府と色々話合をしました。同じ道をポルト・オブ・スペインに飛行機で歸つて来て、ポルト・オブ・スペインからブラジルへ飛ぶことになりました。翌日朝早く出まして飛行機で赤道を越え、アマゾンの河口の附近のベレムで一晩泊りました。翌日レシーフで一晩泊りました。その又翌日ブラジルの首府リオに着きました。リオで二週間滞在しましてブラジル政府との間の交渉を進めました。それから在留同胞諸君の活動の様様を見たいと思ひまして、やはり飛行機でサンパウロに参りまして此處で一週間滞在しました。サンパウロからパラグアイのアスンシオンに参りました。博覽會の方からはパラグアイに行つて呉れといふ囑託は受けて居らなかつたのですが、併しアルゼンチンに行つた上でパラグアイだけ抜かすのは悪いといふ公使の話であれば改めて出ることにしましたが、その夕方パラグアイの政府の要人と會ひまして形式上招請の要務を終へまして、翌日發つてアルゼンチンのヴェノスアイレスに参りました。ヴェノスアイレスに結局三週間滞在致しましたが、その間にウルグアイのモンテビデオに参りまして五日ばかり居りまして

ウルグアイの招請の仕事を致しました。それから又ヴェノスアイレスを飛行機で發つてアンデスを越えてチリーのサンチャゴに参りまして此處に一週間滞在致しました。その滞在中に博覽會は時局柄延期をするといふ電報を受けたのであります。これから直ぐ歸りたいと思ひましたけれども、どうも船の便も悪いし非常に時が掛りますので、飛行機はリザーブしてありますから前に定めた道を歸つて來ることに決心しましてサンチャゴを發つて、その日は國境のアリカといふ所で飛行機が止りますので一晚泊りました。その翌日ペルーのリマまで飛んで参りました。此處も日本の同胞諸君の活動して居る所ですから、一週間リマに滞在して居りました。それから此處を出發してエクアドルのグァヤキルといふ所で一晚泊りました。翌日コロンビアを通つてパナマに飛んで参りましてパナマに三日居りました。それからパナマを飛行機で發ちましてコスタリカに参りまして此處にも三日居りました。コスタリカを發つてニカラガ、ホンジュラス、サルバドル、皆首府に飛行機が着陸しますから着陸しながらグアテマラに参りまして首府のグアテマラに一泊しました。翌日發つてメキシコ・シティーに参りまして、メキシコ・シティーに五日間滞在しまして飛行機で北米のロスアンゼルスまで参りましたわけでありませう。それでそれから結局シカゴから飛始めてズツと南米を大西洋岸から南下して太平洋岸に出で、今度は北に向けて飛んで中米を全部通過して北米のロスアンゼルスまで來たわけでありませう。ハバナに到着しましたのが五月九日で、ロスアンゼルスに歸つて

参りましたのが八月十日ですから、大體三箇月間ではありますが、その間に大抵の首府には一週間乃至二週間滞在して仕事をやりながら、これだけの旅行が三箇月位で出来まことは全く飛行機の發達の結果であります。これを全部飛行機に依らないことにしたならば、一年掛つても一寸こんなには廻れないと思ふのであります。純粹に飛んで居つた時間を計算して見ますと約百二十時間であります。大抵一時間百八十哩位の速力でありますから飛行機で飛んだだけが凡そ二萬一千哩で、往復の汽車汽船を入れますと丁度三萬哩位の旅行になつて居ると思ひます。

飛行機のことを少し申上げますと、これは御承知の方が澤山ありますけれども、私の乗りましたのは大抵パン・アメリカン・エアウエイ(P・A・A)といふ會社の飛行機であります、これはまだこの他に中々澤山航空路を持つて居りまして、ポリビヤの首府、コロンビアの首府、エクアドルの首府に、皆枝線でありますけれども航空路があります。それからマナオスの奥地にも入つて居りますし、相當長い大きな航空路を持つて居ります。その他そんな長い大きい航空路ではありませんけれども、獨逸の會社がやつて居ります。極く一部分でありますけれどもフランスの會社もやつて居ります。大體國と國とを結付ける鐵道、大きな都會と都會とを結び付ける鐵道などが少いのでありまして、こんな各國を旅行する旅行になりますと飛行機を利用することが一番便利でありますから、割に飛行機は發達して居るやうに思ふのであります。

飛行機旅行でしたから船で通つたり鐵道で通つたりしては一寸味ふことの出来ないやうな色々の味ひを今度は味つて來ることが出来ました。先達、二十分ばかりラチオで放送しましたら全國から面白い手紙が色々來るのでありますが、私はその時もう今迄の文學といふものは、この頃は土の文學といふものが流行るさうだが、大抵文士が地上に居つて地上から想像し地上から色々な形容詞を考へたのだが、空中を一萬尺位の高さで斯う毎日々々飛んで見ますと、到底地上で考へることの出来ない、經驗することの出来ないやうな非常に大きな知識や、大きな感想に打たれる。これから飛行機がドン／＼發達すると今度は空中文學といふものが起つて來るだらうといふことを言つたら、それが面白いといふので仲々方々から手紙が來るのでありますが、同行の人達と航空文學論を高空を飛びながらやつたのでありますが、一萬尺位の高空から大洋を瞰下すると、まるで下が空のやうに見える、仰げば又空、その大空の中を飛んで居る、その中に幾重となく雲が天の方にもあり地の方にもあるので、一寸形容の言葉がなく非常に愉快でありました。サンチャゴから北に飛ぶ時に雲海の中のアンデスを飛行機の上から見て行く景色なんかは、一寸筆や口に表はせない大景であります。又アマゾンには御承知の通り世界第一の河であつて、河の王様、キング・オブ・リヴァーだと云はれて居りますが、私は揚子江も今攻略して居る漢口まで遡つたこともありますし、黒龍江も知つて居れば黄河も知つて居りますが、このアマゾンも汽船で通つたり陸地で見ただけ

河といふ觀念に一寸ならぬのぢやないか。飛行機の通つた所が河幅六十哩ありますが、愈々水に掛つたとき時計を出して見ましたが、一時間に百八十哩の速力で走つて居りまして二十分も水の上を通つて居る。六十哩と云ふと東京から西の方へ向つて走つて行けば沼津、北の方に向つて行けば水戸の次の驛が六十哩でありますから、東京から水戸の次の驛まで河幅があるのであります。これも飛行機で飛べば大觀するところが出来ますけれども、初めて飛ぶ時には逆も河と想像することは出来ぬだらうと思ひます。丁度三角洲のマラジョーの上を飛行機が飛びますが、こんな赤道直下にも人が住ひをして居るかと思つて飛行機の上からも熟々感心しましたけれども、飛行機から道路も見えますし住家も見えますが、このマラジョー島は日本の九州程の面積があるといふのですから、日本の九州を河口に持つて行つてボンと放り込むことが出来る位であります。これも飛行機の旅行でありますから見ることに出来る大景であると思ひます。實にアマゾンの壯大なことを感じて參りました。

飛行機のことを序でに申上げると、サンパウロを發ちましてパラグアイのアスンシオンに飛ぶ途中にパラグアイとアルゼンチンとブラジルの三國に境する所にイグアッスーといふ瀧がある。これは實は私共知らなかつたのでありますが、世界第一の瀧だと云はれて居る。今迄世界第一の瀧はナイアガラの瀧だと思つて居りましたが、丁度ラプラタ河の上流がブラジルから流れ／＼てこれがブラジルの高地から平原のバラ

グアイ、アルゼンチンに落ちて来る所にイグアッスーの瀧が出来て居る。飛行機が低空飛行をして瀧を一周して見せて呉れましたが、どうも高い空中から瀧を見るといふのは見方が違つて居るのですけれども、それでも實にえらいもので、何でも高さは平均六十米位だといふのですから、ナイアガラの瀧でも六十米位はあると思ひますが、長さや、幅や、水量に至りましたならば到底ナイアガラの瀧など側にも寄れないといふ事です。瀧壺から水煙の上つて居る壯觀が飛行機から見られますが實に雄壯なものです。これを下から見上げたら恐らくえらい瀧だらうと思ひましたが、此處で初めて世界第一の瀧が南米にあるといふことを知つたのです。それからアンデスを越えました、アンデスが世界第一の大山脈であることは御承知の通りであります。雲海の上のアンデス山脈、アンデス山脈はチリーの南方からズツとペルーに迄走つて居る、これを飛びましたのですから殆どアンデス山脈の全貌を見たと言つても宜いのでありまして、實に壯觀であります。これも飛行機旅行でなければ味はふことの出来ないものであつたらうと思ひます。

二 飛行機の故障で海上に着水

幸に無事に歸つたのですけれども、毎日々々飛行機に乗る身になつて見ますと何となく新聞を見ても飛行機の事故が非常に能く目に付くのです。今日は亞米利加の何處やらで旅客機が落ちて全部死んだとか、

今日はフランスの何處やらで飛行機が落ちて日本の陸軍の駐在武官が死んだといふやうな記事を毎日見て居る。初めパン・アメリカン・エアウェーの會社に行つてこれだけのリザーブをする時にパン・アメリカン・エアウェーの引札を見ますと色々な統計を書いて、要するにパン・アメリカン・エアウェーはセーフティー・ファーストといふことをモットーにして居るから事故が少い、だから長い旅行をするのには汽車で旅行したり船で旅行したりするより非常に危険が少いと言つて居る。パン・アメリカン・エアウェーが一番安全だ、パン・アメリカン・エアウェーの安全率は九九・七%だ、たつた〇・三%だけ危険があるのだと統計で書いてありますが、中々さうでない、中々事故があるのです。私共此方に行く一週間ばかり前に飛行機がカリビアン海に突込んで全部死んでしまつたといふ記事が出て居つた。それから此方にあつたのはパン・アメリカン・エアウェーの飛行機ではなく獨逸の飛行機でしたが海に突込んで四人が死んで、その中にブラジルの前司法大臣もあつたのでありますが、死體の捜索をしてゐるといふことが出て居りました。それから私共が飛んだ次の飛行機がヴェノスを出て間もなくお寺の屋根にぶつつかつて十三人死んだといふ記事が出て居りました。又中米に向つて飛んでゐるときはチャイナ・クリッパーの飛行機が落ちて大變な騒ぎでした。そんな譯で飛行機は安全だと言ひますけれども、不仕合な時に當るとさう安全だとも言はれないのであります。

私共の體驗を此處で一つ申上げますと、ヴェネズエラ國のカラカスに行きます時にはラグアイラといふ港に着くのであります。カラカスはこの港から三千何百米も高い所にありまして、恰度箱根の自動車道路を上るやうに上つて行くのであります。赤道近くにありまして高いから比較的涼しい。その海岸のラグアイラといふ港に着いた時のことでもあります。愈々ラグアイラに来て飛行場も見えて居る、大抵飛行場の所に来ますと段々低くなつて来て一廻り廻つてそれから降りるので、ラグアイラに来た時はどうしても下りようとしな、沖の方に出て行き又飛行場の廻りに飛んで来又沖の方に出て行つて何時まで経つても下りない。何をして居るのかモウ下りさうなものだと思つて居ると、船長と機關長と助手と私共を世話するボーイと四人が機關室に入つて何かバタ／＼して居るので何かあるナと思つて居つたのですが、暫くすると機關長が出て来て飛行機の横の方から覗いて居つた、聽てポンプなどを持つて来てその下から空氣を入れて居るのです。これは何かあるナと思つて居つたのですが、結局行つて飛行場の周りまで来て三十分位ぐる／＼廻つて居るけれども中々下りない。暫くしたら機關室からボーイが出て来て只今船長の命令ですからシートの下に浮袋があるから附けて下さいと言ふ。陸へ着くの浮袋を附ける、をかした話だと思ひましたけれども、成程シートを上げて見るとセーフティー・ベルトがある、船長の命令だからといふのでそれを身に附けた、椅子にはセーフティー・ベルトが附いて居る、それを確かり締めた。十四人乗

の小さな飛行機でありましたが、大方満員で十二人位乗つて居つたと思ひますが、外國人もブツ／＼言ひながらそのジャケットを着て居りますと低い所を飛んで居りますから實に暑い、何か説明しさうなものだと言つてブツ／＼言つて居る。その中に船長が出て来た、何時も船長は綺麗な服装をしてちゃんと上着も着てお客の前に出て来ますが、その時は髪もくしやく／＼してシャツの儘で出て来たが、悲壯な顔をして「どうも陸へ着けぬやうになりましたから危険は件ひますけれども、已むを得ず海に落すより仕方がない、併し私は私のベストを盡します、今皆さんに報告し得ることはこれだけであります」と言つて沈痛な顔をして機關室に歸つて行つた。さあ御同様落されるのだといふことになつて用意の良い人は靴を抜いでしまふどうせ靴を抜いても抜がんでも同じだらうと思ひまして、私は丁度読みかけの小説が非常に面白いものですから、成るべく物を考へないで小説だけ読んで居つたら宜いと思つて読んで居つたのですが、又船長の命令で坐席を變へて呉れ、體重の軽い者は前に乗つて重い者は後ろに乗つて呉れといふ。私は日本人の中では軽い方ではありませんけれども、西洋人の中に入ると軽い方ですから一番前に行つた。所が中々落ちない、落ちるなら一思ひに落せば宜いのですが中々落さない、私も他の事なら相談に乗つてやるとか話相手になるといふこともあるが、飛行機の事故だけはどうにも仕様がな、況んや窓を破つて逃げるといふことは出来ないですから運命に委せて居つたのです。それから三十分以上飛んで居つた、後で訊くとガン

リンが残つて居ると非常に危いからガンリンを全部費消させる爲に飛んで居つたといふのですが、結局飛ぶ能力がなくなつた。何處が故障か知りませんが、それもラグアイラの高い建物に當るかと思ふ程低い所に飛んで行くし、それから海の上に出ると一定の高度からドンと海の中に落ちてしまつた、えらい音で落ちた。その落ちた瞬間に私は一番前に居りましたから、機關室の隣りのドアを締めることを忘れて居りましたが、ドカンと落ちた瞬間に船長と機關手と並んで居りますが、それが両方で手をさし延べて握手しましたから、その時にあつ助かつたナと思つたのですが、結局誰も怪我をしませんでした。少し何處かから水が入つたと思ひますが、荷物も私のは濡れませんでしたけれども、或る一部の荷物が少し濡れたといふだけで誰も少しも怪我をしませんでした。機體が少しでも頭を擡げて落ちると水の中に突込んでしまふ、水の中に突込んだら大變なことになる、うちやく／＼して居る間に半分位はお陀佛になるといふ話ですが、非常に落し方が旨くてそれだけのことで済んだですが、ラグアイラの町は大變な騒ぎで海岸に人が一ぱい出て来て、私共は飛行機から下りてランチで上陸した時は救急自動車が出来て居り醫者が来て居る、必ず怪我人が出来ると豫想して居つたらしいのですが、幸に皆無事で平氣で上陸して行つた。マア助かつて歸つて見ればやはりこんなことがあつて歸つた方が面白かつたですけれども、そんな経験を一つ得ました。

三 南米の高峯アンデス越え

それからアンデス越えですが、アンデス越えは此處に御出での宮本南米課長も経験されて居りませうが私共経験しました時はその發つ前にチリが非常な暴風で、飛行便は一週間に二度であつたと思ひますがその前の週間の二度共飛行缺航で飛べなかつたのです。私共が飛ぶ前の日もアルゼンチンのヴェノスアイレスも非常に風が吹いて居つて出ないかも知れないといふことであつた。出ないからと云つて何時までも居るわけに行かないから汽車でも發つことにしようといふので會社に訊いて見たら、明朝は發つ積りだと言ひますから、どうも氣候が悪いけれどもチリの方にも色々な約束がしてあるから、思ひ切つて發つことにして翌日飛行場に行つて見ますと、飛行機は時間通りに發ちましたが大分アルゼンチンでも向ひ風が強くて、アンデスの麓のメンドサまで行く間に飛行機が一時間も遅れました。さういふ風に非常に悪い時であつたからでもありませうが、愈々アルゼンチンからチリに入る國境の所、下は白皚々たる山で飛行機が越える所が一萬二千尺の高さで飛行機はその上を二千尺乃至三千尺の高さで飛んで居るので、丁度一萬四、五千尺の高度で飛んで居るから寒いことは決つて居る。それに空氣が稀薄になるから酸素吸入をやる、初めは何かと思つて居つたのですが、そのアンデス山の山の上に行くくと座席の隣りに附いて居るゴ

ム管で皆酸素吸入をやつて居る。物は試しだから自分もやつて見ようと思つてやつて見るとやはり氣持が好い、自分はさう呼吸が困難に感じなかつた、ただ息が少し早くなつた位に感じて居りましたが、酸素吸入をやつて見ると非常に工合が好い、西洋人は少し機體が動揺すると眞青な顔をして居つて一人は吐いたりののが居つたが、私共は平氣でした。併し驚いたのは此處のエア・ポケットです。エア・ポケットといふのも私多少経験があるので、東京で一週空を飛んだ時も極く小さいけれどもエア・ポケットにどんと落ちた経験もあるし、それから一昨年滿洲に行つた時にハルビンから大黒河に飛んで参りました。行きは何でもなかつたのですが、歸りに大黒河からチ、ハルに出る時に非常に天候が悪くて飛行機が出るとか出ぬとか言つて居つたのを出たのです。小興安嶺の上を通る時に可なりドンと來たのです、其處は可なり酷いエア・ポケットだといふことを船長が話して居りましたが、それを経験して居りましたから、大したものではなからうと思つて居りましたが、アンデスのエア・ポケットは大變なものです。モウ一遍お前行つて見るかと言はれ、ば一寸躊躇するやうな氣分なんです。アンデスはアコンカグア山といふ山が二萬四千尺で丁度富士山の二倍あります、二萬尺以上の山が十幾つもあるやうなアンデス山脈です。それに太平洋の風が非常な勢で吹き付けて來る屏風のやうな山です、其處を越えて行くのですからこのアンデス越えの航空路を開く爲には非常な犠牲を出して居る。愈々國境に掛つた時にドンと落ちた、どの位

落ちるのか一寸想像出来ませんけれども、落ちた瞬間ピリ／＼と云つて如何にもぶち裂けるかと思ふ位で
 ありました。どの位落ちるのか一寸想像が付きませんが、かういふことを申し上げたら凡て御想像つ
 ぐかと思ひます。この大きい飛行機のシートの上に四十五度位の角度で棚が出来て居ります、これに帽子
 や外套を皆突込んで置くのですが、少々動揺しても四十五度の角度がありますから落ちはしない、所がド
 ンと落ちる瞬間にその中の帽子も外套も飛出して帽子などは舞つて居る位で、兎に角餘程落ちるものだ
 と思ふ。これは本當の飛行士に聞かなければ分らぬですが、餘程落ちるのだと思ふ。落ちてから空氣濃厚な
 る關係が何か知りませんが、今度は上るので、その上り方がぐ／＼と上つて行く、それが又實際
 氣持が好くない、それから又上つたかと思ふとドンと落される、ピリ／＼と飛行機が震動する、一體どう
 なるのかと思つて實際考へさせられたのですが、乗つて居る人は逃げるわけに行かないから仕様がな
 い、そんなことを二、四度繰返されて僅にチリーの青い山が見え出した時に漸くそれで助かつたナと思ひまし
 たが、可なりえらいことだつたと思ふのです。併し大きい飛行機に乗つて居る間は三十六人乗ですから喫
 煙室もあつて煙草も喫めますし、晝飯を食ふ時にはテーブルを出して下界で飲むと同じやうな暖いスー
 プも飲める、一萬尺の上で温いスープ料理を食つて行くのですから贅澤と言へば贅澤です。大體大西洋岸は
 穩かであるが、太平洋岸はペルーから南は大分飛行機が動揺します、アンデス山脈の上を通る時にはセー

フティールベルトを付けろといふ命令が幾度も出る位でお客さんにも大分弱つて居るのがありました。晝飯
 を食へないといふ人もありましたが、私共一行三人は三人共至つて強健でその點では私共は萬丈の氣焰を
 吐いて参りました。

大體飛行機の模様はそれ位であります、これだけ歩いて参りましたから一々各國のことを仔細に申上
 げて居りますと非常に時間が掛りますから、極めて簡單に出来るだけのお話を申上げたいと思ひます。

四 キューバの國賓となる

今度の私の任務は博覽會の招請ですが、後にもお話申しますが、皆様も能く御存じの通り中南米各國
 は殆ど經濟的にも或は貿易關係の上から申しましても全く英米依存の國である。さういふ國柄で、日本
 は今支那事變を通してイギリスとはあんな關係になつて居るし、アメリカに於ては輿論が非常に悪い。そ
 れをかういふ國々へ出て行つて金を使つて博覽會に出て來いと説得に行くといふやうなことは時局柄餘り
 良いことではない、殊に日本は今戦争して居るのに博覽會どころぢやないぢやないかといふやうなことも
 言はれないとも限らないし、非常に冷淡な取扱を受けはしないかといふやうなことを行く時には心配して
 行きました。時期としては非常に悪いですが、併し日本がやると決つた以上兎に角一國でも多く参加させ

るより外ないから出来るだけの努力をするといふ覺悟で出て行つた。旅行の順序は一番先にキューバに参つたのであります。キューバはスペインから獨立することが一番遅れた國であります。それも最近までアメリカの援助を得て保護國になつて居りまして一九三四年に漸く獨立してキューバ共和國とはなりましたけれども、未だにアメリカの海軍の根據地がありますので絶対に獨立といふわけでもないと思ひます。殊に産物は煙草と砂糖が主なものでありまして、煙草でも砂糖でも特殊の關稅でアメリカが買つて呉れますからキューバの國は財政上立つのですが、アメリカから旋毛を曲げられればキューバ國は殆ど成立たぬ國で全くアメリカ依存の國であります。キューバに行くといふアメリカの勢力が非常に盛な所でアメリカの輿論が日本に對して非常に喧しい時であつたから、どうもキューバで一番初めからをかしのことに取扱はれはしないかと思つて非常に心配して行つたのですが、彼處に居られる寺崎代理公使なども豫め盡力して下さいました。これは非常に鄭重なことだと思つて居りました。それから代理公使が豫めアレンジして居りました。これは非常に思ひますが、エアーポートに着いて見ますとキューバ政府から式部官が迎へに来て呉れて居りましたから宿屋に着いて荷物を置くと直ぐに外務大臣に面會に行きました。さうして色々博覽會の話をして私が歸らうとしますと、外務大臣がどうも中南米に御苦勞になつてその第一步を我がキューバ國に印して下さいたことは洵に光榮の至りだから、御滞在中央政府の賓客として御待遇申上げたいがお

受けして呉れるかといふことであります。此方は一寸面喰つたのです。一體博覽會の客引に来て國賓になつても宜いのかといふことを判斷に苦しんだわけですが、豫め代理公使に云つたわけでもなし、どうするかと相談するわけにも行かぬからなるやうになれといふので、折角の御好意ですから有難くお受け致しますとお受けをしてキューバでは滞在中國賓として待遇されました。政府の指定する宿屋で政府がリザーブして居る非常に立派な良い部屋に入つて出入に自動車を出して、事ある毎に式部局から色々な案内者が隨いて色々な世話をして呉れました。非常に和かでその後宴會等を開きましても各大臣とも實に打とけて随分色々な話もして参りました。かういふことは言うて宜いかどうか知りませんが、可なりアメリカの悪口を吾々に露骨に言つて居りました。アメリカといふ國はうるさい國で物質が萬能の國で駄目だ、日本のやうな精神的の國の指導を仰がなければいかぬのだといふやうなことを可なり露骨に言ふ人達がある位であります。非常に和やかな接觸をやつて参りました。今の大統領は大きな砂糖屋さんの上りで實は陰に隠れて居る獨裁者がある。獨裁者の代表者として外務大臣レモスが事實上の政治はやつて居る、この次の大統領にはレモスになるだらうといふ位に考へられて居る。そのレモス外務大臣なども非常に打とけて宴會も九時、十時頃から始まつて宴會が終つても酒を飲んで話をして申々歸らない。一時から二時頃までやつて居る位でありまして、實に和やかな會見でありました。博覽會のこともさることでありまして、非常

に氣持の好い心持で發つことが出来ました。博覽會の方は參加することは勿論でありますけれども、ただ財政は非常に不如意でアメリカの不景氣の影響を受けて居りますから役人の月給も拂へない月もある位でありますのに、キューバ館を建てて呉れといふやうなことを言ふのは言ひ悪いのでありまして、寺崎君が自分に委せて呉れ、あなたが突詰めてノーと言はれたら仕方がないから私に委せて呉れと言ふ、ひよつとしたらキューバ館を建てさせることが出来るかも知れない、さうすれば儲け物だからといふので參加することは勿論でありますから、キューバ館を建てるか建てないかといふことは寺崎君に委せて私はキューバを發つたのであります。キューバの政治上の問題や、社會情勢をお話申上げれば多少興味になることがあると思ひますが、そんなに一國を細かく言つて居りますと時間が足りませんから大體そんなことにして置きましてその次にヴェネズエラに参りませう。

五 石油の寶庫ヴェネズエラ

此處にはヴェネズエラへお出でになつた方があるかも知れませんが、私共はヴェネズエラのことはい餘り知らなかつたのであります。カラカスの町は三千何百尺の高地にありますから、赤道の下にありましても比較的涼しいのでありまして氣候は非常に好い所であります。町は大して綺麗な町ではなくスペイン風

の建物で餘り愉快な所とも思へませんでしたけれども、唯だカラカスへ行つて非常に驚きましたことは、恐らく中南米を通じて非常に資源の豊富な所で天恵に恵まれて居る國だと思ひます。御承知のやうにマラカイボ湖水の附近から石油が出ます。最近コロラド河の沿岸地方にも石油が出ます。世界第三位の石油産出國になつて居ります。その他ヴェネズエラを歌つた詩人の歌もありましたけれども、地中に金も、タングステンも、鐵もあり、地中の資源は大したものでもあります。コロラド河下流一帯は非常に豊饒な土地で穀物も出来すし、上流に行けば森林地帯がある。此方に行く時にヴェネズエラの上空の一部を飛んで参りましたが、面積は丁度日本の二倍半もあつて人口は四百萬に足りないのですから全く人口稀薄で奥地なんか全く人が居りません。そんなことで兎に角資源には非常に恵まれて居るのです、今迄開發されて居る石油は皆英米の資本で皆英米の權利になつて居るのです。石油の輸出税だけでも人口一人當り十六、七圓位の稅收入があるといふことであります。全然外債はなく外國から金は借りて居りません、内債も殆どないのであります。やつて行けば非常に面白い所だと思ひます。前のゴメスといふ大統領が二十七年間も獨裁政治をやつて居つた。一方から言へば思ひ切つた政治をやり、コロンビアに通ずる道路なども思ひ切つたものをつけて居ります。併しこの國には東洋人は一切入れないといふ國ですからヴェネズエラ全體を通じて子供を入れても日本人は二十人位しか居りません。日本の外交機關はなく名譽領事にヴェネズエラ人を

任命して居りましたが、それが死んで後補充もしてないので全く外交機關がないので外務大臣に直接談判で會つて博覽會のことを話すと非常に機嫌よく聞いて呉れましたが、直ぐ不平たら／＼で非常に小言を聞かされたのです。御承知のやうにヴェネズエラは一千萬圓も日本から物を入れて居るのに日本はたった二十萬圓しか品物を買つてゐない、非常に片貿易であると言ふ。そんな良いお得意様だから日本から誰かやれば宜いのですが外交機關は一人も行つてゐない、それでボゴタの公使館で話をやつて居る、日本ではバーター・システムにでもなつたら大變だといふので色々工作をやつて居るさうですけれども、ボゴタの方でやつて居るのでそこからそんなに巧く行くわけがない。ヴェネズエラの外務大臣は「日本はどうも困る、斯んな工合になつて片貿易では何とか通商條約をやらなければいけぬと言つて日本にやるけれども、日本は誠意を披瀝して呉れない、俺の方から案を出すと言へば日本から出すからマア待つて呉れと言ふ、ボゴタへ電報を打つても返事も呉れない、日本ではどうする積りですか」と言ふ。それで私は博覽會の勧誘に行つてさういふことを言はれたのでは困るので、「成べくあなたの所の物を買ひたいのですけれども、中南米は産物が同じでコーヒーなどが主だらうがモウ少し日本で買ふ物を探して呉れ、さうすれば日本は買ふ意思はあるのだから……」と色々言つたのですけれども「モウ既に議會は關稅改正法が通つて大統領もサインしたのだけれども、自分は日本と話合ひの關係から大藏大臣に特に頼んで日本に關する限り、その條

項を適用しないといふことにして貰つて居る。それを日本ではどうも誠意を披瀝しない」と言はれる。それから又「一體わが國は總領事館を何年も前に東京に置いてやつて居るが、日本は外交官を一人も寄越して居らない。何でも公使館を作るといふやうなことで去年から家を借りては居るがまだ開かうともしない」と言ふ。中南米輸出組合で金を出して家を借りて居るのださうですけれども、開いて居らない。それで取り付く術がないので外務大臣に電報を打つたのです。モウ少し誠意を披瀝しなければいかぬ、その關稅法が適用されれば日本は年額輸入を七萬弗しか許されないと、一千萬圓も入つて居るものが七萬弗になつたら大變だと思つて電報を打つた。餘り小さい國だと言つて馬鹿にして居ると俺等の仕事にまで影響して來るぢやないかといふやうなことを打つてやつたのですが、そこへ中南米輸出組合の海外駐在員若林君がこの問題を心配して飛行機でパナマから飛んで來たので、その人と協力して何とか一週間滞在中に努力しました。その中に私共の電報が利いたと見えてコロンビアの公使に山形を任命してヴェネズエラ公使を兼任してやるから出来るだけ努力して呉れといふやうなことで外務省から電報が來ましたが、私が電報を打つたら直ぐ外務省は公使を任命したぢやないか、だから公使が着任するまで現在のまゝにして置いて呉れといふやうなことを申入れて博覽會の方はそつちのけです。仕様がなから歸る時に外務大臣に、聽て山形公使が來て博覽會のことを話すからどうか誠意を認めて博覽會に出て呉れといふ手紙を残して彼處は實は逃

げて歸つたのです。そのお蔭で實は早く公使が任命され、先日山形君からカラカスから手紙が来て、あの問題も盡力中だといふ手紙が私に着きました。ヴェネズエラに入つたことは博覽會の趣意から言へば此方は散々な目に遭つて効果がなかつたわけでありました。

六 南米の雄邦ブラジル

それから先程申上げたやうな経路を経てリオに着いたのです。所で私の腹を申上げますと、どうも斯んな不景氣の時期に各國に特設館を建て、参加しろといふことを言つても駄目だらう、併しどうしても南米のABC、アルゼンチンとブラジルとチリーだけは特設館を建てさせたいものである。歸りにメキシコが成功すれば四つ特設館が出来る、さうすれば私としては成功だ。その他の國々はコ、アヤ、コーヒーや各種の産物を外國館の中に出して貰つて國として参加したといふことになれば宜いとかう思つてゐたのであります。その第一のブラジルに入つて、若しそのブラジルで特設館を設けないといふことになる。アルゼンチンもチリーも設けないといふことになる。南米の覇權を争つて居る所のブラジルで成功しさえすればアルゼンチンはやらぬ筈はない。これを説き落すことは出来る。南米ABCの一つたる兩國の特設館を建てる。となるとチリーがやらないといふやうなことはない屹度成功する。私はブラジル大使の澤田君とは

學校は同期であり、中南米唯一の大使で私と懇意でありますから澤田君に手紙を出した。時期は悪いと思ふがブラジルだけはどうしても特設館を建てさせたい。ブラジルを説き落さないと結局自分は何をしに來たか分らない結果になる、どうか盡力して貰ひたい、君は中南米に君臨して居るたつた一人の大使ぢやないか、その大使の居る所で特設館を建てないといふやうなことになつたら大使の面目に關することになるといふやうなことで懇々と御願の手紙を出した。澤田大使も非常に努力され心配されて私共の着く前から色々と下工作をやられました。彼處に天城といふ参事官が居られますが、大使自らぶつつかたのでは、いけない時に後やり様がないから参事官を以て商工省あたりを突付いて色々下工作をやつて呉れたのですが、私が翌日大使館に行つて澤田大使に會ふと、どうも難かしい、容易ぢやないぞ、この間から参事官を以てやつて見るけれども、殊に一番この方の中心になる商務局長は相當有力な人で口をきく男なんだがどうも天城君をやつて見ると、この不景氣なのに博覽會どころではないとか、今迄博覽會に参加して來たが大した効果もなかつたといふやうなことを言つてどうもこれは容易なことではないと思ふといふ話でありました。併しどうしてもブラジルで成功しなかつたらこれはモウ後が駄目なんだからどんなことでもやるから引廻して貰ひたいと頼んで全く澤田大使の指導を受けて可なり色々やつたのであります。外務大臣のアライニヤ氏は長くアメリカのブラジル大使をして居つて非常に親米主義の人だ、どうもこの人が外務大臣に

なつてから日本に対する外交方針が少し變つて来たといふやうなことまで風評されて居る。會つて見ますと外務大臣ですからお世辭を言ふのです。併し人を喰つたやうな態度でどうも誠意のあるやうにも見えぬ。益々心配して主管の商工大臣がさうであるし、外務大臣があんなチャランボランではどうか分らぬ、と考へて日本最負な農務大臣、この間の移民法改正でも蔭になり日向になり日本に最負して呉れた農務大臣、それから博覽會に直接關係のない交通大臣などを歴訪して陳情などした。ゼッリオ・ヴァルガスといふのが今の大統領ですが、結局大統領の獨裁的な國だから大統領をうんと説き落すより仕方がないと思つた。所が新聞記者の Cocktail・パーティーをやつたり新聞協會を通じて渡りをつけたりして新聞記事は非常に宜いのです。恐らくこれだけの大掛りな記事を出したことは尠ない。平生さんが經濟使節として行かれた時でも此程ではなかつたといつた人もある位で、毎日々々寫眞入りで殆ど全部の新聞が提燈持をやつた。どういふことで共鳴したか分りませんが、やはり酒を飲むことも大分得な所があると思ひますが、中新聞記者は酒飲みですから Cocktail 十杯位飲んで平氣なものが居る、此方も十五杯位飲んで平氣である、新聞記者の中には酔拂つて抱きついて來たものもあつた位でなんだか新聞の方は非常に調子好く行つたのです。

七 ヴァルガス大統領の印象

私は伯國に行く前からヴァルガス大統領の政治に對しては多少の興味を以てヴァルガスの施政に就ては多少の豫備知識を持つて居つたのです。ブラジルの地勢や、地理や、人口のことをお話する必要はないと思ひますが、二十四州の中でサンパウロ、その隣りのミナス・ゼラス州が産業も非常に發達して居りますし、民度も非常に高く、大體この二つの州が非常に勢力がありますので、大統領選舉に當りましても大體この二州が盟廻しに大統領を出して居る、だから長い間大統領はこの兩州から出てををつた。所が今の大統領は一番南のリオ・グランデ・ド・スールといふ小さい州から起つて、一九三〇年に革命を起して大統領を追つて自ら大統領になり獨裁政治を三年と少しやつた、それから憲法の改正をやつて憲法上の大統領となつた人です、その後も二度ばかり憲法改正をやつた、その憲法改正に依りますと一九三八年で大統領の任期が終るわけでしたが、昨年クーデターをやつて憲法を改正してモウ後六年大統領の地位に居ることの出來る憲法上の權利を得た。モウ既に八年大統領をやつて今後も六年大統領たるの地位を得た。今迄のやり方を見て居りましても一種の人物だと私は思つて居りました、日本に居りました時にもさういふ風に感じて居りました。さういふやうな譯で獨裁政治をやつて居る時にサンパウロ州に革命が起つた、一九三二年

です。それから共産黨が一時全國的に非常に盛でした。一九三五年に共産黨と軍隊の一部が聯合してヴァルガス政府打倒の謀叛が起きて非常な騒ぎになつたのであります。この間リオに着きました時にその謀叛をした兵營に大砲の弾痕があるのを見て來たですが、兎に角大統領の勢力といふものは非常なものである。共産黨の騒ぎ以來共産黨の檢舉壓迫に全力を擧げて徹底的に共産黨を潰して居ります、恐らく共産黨の檢舉で世界で一番有名なのは日本とブラジルのヴァルガスであると思ふ。ヴァルガスは共産黨檢舉にはファッシストを利用して居る。青シャツ黨が出來て、それからファッシの團體がある。これはスペインでもある如くファッシと共産黨とが衝突して叩き合ふとか、ピストルの撃ち合ひが方々で起つて居る。併しその時には共産黨を徹底的に叩きつけるまではファッシを利用して居る、所がさうなるとファッシが政治の上に嘴を出して來る、それで又うるさくなつたから自分は共産黨にあらず、ファッシにあらず、純然たるデモクラシーを行ふのだと言つて居る。そこでファッシを少し抑へ掛けた、特に昨年憲法改正をやつてもう六年大統領の地位が動搖しないことになつたから、今度は又ファッシをぐつと抑へて來た。そこでファッシが不平を持つて軍隊と警察の一部にくつついて五月十一日の午前二時に大統領官邸と參謀總長官邸と陸軍長官の官邸を暴徒が襲撃した。まだキューバに居つて時だと思ひますが、ブラジルに革命が起きたと言つて大きな新聞の記事が出たから、今ブラジルに行かうと思つて居つた所に革命ちや大變だと思つてび

くくして居つた。その間にコロンピヤとエクアドルの間に何か起つたといふ記事があつたから、これは博覽會どころではないと思つて居つたのですが、新聞記事を読んで居ると革命といふ程ではなく日本の二・二六事件に少し毛を生やした位のものである。大統領の官邸に來たけれども日本のやうにあんな鐵砲で大統領官邸の戸が破れるやうなものではないから機關銃でバラ／＼やつた。その時にヴァルガス大統領自ら携帯用の輕機關銃を以て暴徒に應戦した。ヴァルガスのお嬢さんは、これ亦ピストルを以て應戦したといふやうな記事が出て居りました。日本と一寸違ふなと思つたのです。結局ヴァルガスが電話を掛けたので正規の陸海軍兵がやつて來て大統領官邸の前で撃ち合つて交戦三時間にして暴徒が逃げて鎮定した、かういふやうな記事が出て居つた。何れにしてもそんな騒動が起つたのでは大變なものだと思つた。それから段々此方に来る時に畫報などを見ますと、「事件後五時間のヴァルガス大統領」といふ記事が出て居る。その記事を読んで見ると午前二時に襲撃を受けて事件が終結したのは午前五時半だ。それからヴァルガス大統領は綺麗に髭を刈つて朝飯を平常の如く取つて何時もの通り午前九時半でしたか登壇の時間に唯た一人の秘書官を伴れて官邸から何事もなかつた如うに大統領の事務を取る事務所に官邸から歩いて行つて居る寫眞が出て居る。これは何しろ芝居にしても面白いナと思つたのです。それ位機關銃で命懸けでやつて居つて、その朝五時間したら綺麗に髭を剃つて秘書官一人を伴れて徒歩で登壇した、一寸面白いナと思つた。

それからモウ一つ私が面白く感じたのは五月十一日の次の日曜日だったと思ひます。事件が起つてから十日位しかたゝぬと思ひますが、その日曜日にヴァルガス大統領は子供を伴れて飄然としてリオの郊外に出て日本人の高瀬といふ男の経営してゐる金魚屋の金魚を見に来た。そこで金魚屋の高瀬といふ男は酷く感激して一番良い金魚鉢を贈らうと意氣巻いてゐるといふやうな記事が出て居つた。一寸これも面白いと思つた。兎に角新聞の論調に依るとヴァルガス政権が保てるかどうか分らぬ、全国的にファッシの叛亂が續いたら大變だといふやうなことも出て居るし、それにこの運動に關係した者は相當有力な者がある、何銀行の頭取とか何々新聞社の社長が引張られたといふやうな記事が毎日ひつきりなしに出て居る。さういふ徹底的にファッシの斷壓をやつて居る最中に子供を伴れて飄然と金魚屋に金魚を見に行くといふやうな氣持も非常に愉快なことだと私は思つて、豫て読んで居つた通りに面白い人だなと思つた。リオに着きましてから暫くして大使に「一體君高瀬といふ金魚屋を知つて居るか」と訊くと「僕は知つて居るけれどもまだ行つたことはない」とこの間ヴァルガスが行つたといふ記事が出て居るが、「それでは一つ行かうぢやないか」といふやうなことで大使の自動車に乗つて日曜でしたが、その金魚屋に行つたのです。その高瀬といふ金魚屋は面白いのです。十年ばかりやつて居るが、初めの間は日本と同じやうに擔いで賣り歩いてをつたら子供に引繰返されたりしたこともあつて色々苦心しましたが、此處まで來ました、小さいやうです

が金魚も百萬尾も居ります、今では非常に樂になつてぢつとして居つても方々から買ひに來ますので年に一萬二千圓位の純益がありますと言つて居つた。非常に汚い風をして居る、これも突然行つたものですか大使さんがお出でになつたといふことで大したものだ。「一體この間ヴァルガス大統領が來られたといふがどんな風だつたか」と訊くと「初めはただ綺麗な立派な人が來たが別に大統領とは思はなくていゝ加減に扱つて居つたら秘書官が大統領だと言ふからそれから色々な接待をした、所が大統領さんも面白い、鰻魚を飼つて居るから鰻魚を見せた所がぢつと坐つて一時間も魚の喧嘩を見て居つた」と言ふ。あれだけのことをやつて居りながら、それだけの餘裕のある男で私は非常に面白い男だと思つた。私共着いた時までもまだヴァルガス政権がどうなるかと多少危惧を抱いて居つた、大使館あたりもさういふ意見を持つて居つたやうですが、吾々もこの人物なら屹度抑へてしまふだらうと思つて居りました、今日まで何も響きがありませんからうんと抑へて居るだらうと思ふのであります。

大統領の素顔を申上げて見ますと大體さういふやうな人物であります。だからこの大統領を「うん」と言はせれば外で少々意見があつてもなに肯かぬことはない。その後外務大臣が通商審議會の方に行つて細かい説明をして呉れといふので行つて四時間も向ふの色々細かい質問に答へながら談判したのですが、一面には多少の議論もあるし商工局長などはどうも「持つて行つた物を直ぐに賣れるやうにして呉れ、規則

には賣れぬやうになつて居るからそれを賣れるやうに保證して呉れ」よし俺が保證してやる」といふやうなことの談判もやつたのですが、どうしてもこれは上からやれといふことにしなければいかぬと思つた。ヴァルガス大統領に會つたら本當に一つとつ掴まへて見たい、かういふ積りであつた、愈々ヴァルガス大統領に謁見する日が決りました。所が澤田大使から「どうもヴァルガスはこの頃非常に忙しい、殆ど睡眠時間のない程忙しくやつて居る、大統領の事務室に行つて御覽なさい、えらい面會人です、實に忙しいことは想像出来るです、さういふ時だから博覽會のことはあれだけ日夜色々の人に話してあるのだから、兎に角一國の主權者なんだから三分間位で失敬するやうに話をやつたらいいだらう」といふ注意を受けたのです。それは御尤のことで餘り要らぬことをべら／＼言うて將來大使の活動に妨害になるやうなことがあつてはいかぬから私は慎しんでヴァルガスに會見した。ヴァルガス大統領は非常に小作りの人ですが寫眞に出て居るやうに非常に良い顔をして居る人です。そこで私は大使が注意して呉れたものですから、これは早く言はなければいかぬ、長く言つて居つても駄目だと思ひましたから、聲に力を入れてヴァルガスを睨み付けて言つたのです。今度の博覽會は世界中でやつて居るザラにあるやうな博覽會とは違ふ、皇紀二千六百年を記念する博覽會だ、政府は勿論日本國民全體は非常な熱を以てこの博覽會を支持して居る、だから從來あなたの國と日本の國は非常に關係が好いのだが、かういふ國民の熱意を捧げる時に利害を超越し

てこの博覽會に大々的に參加するといふことは將來ブラジルと日本の關係に一大飛躍をする、金の問題とか人の問題ではない、兩民族を結合するにはこの博覽會を利用することが一番である、各大臣にも色々詳細のことは話してあるが、結局あなたがやれと言へば直ぐ出来るに違ひない、だからこの博覽會に大々的に特設館を建て、參加するやうにやつて貰ひたい、私は一億萬の日本國民の誠意を代表して懇へるのだといふことを猛烈に力を込めて言つたのです。それは無論通譯が居つて通譯して呉れるのですけれども、聞き終ると大きく頷いて、能く分りました、あなたの熱意に感激しました、私は斷じてやります、丁度横濱に總領事をして居つた男を今呼び返して居る、これは日本を能く知つて居り非常に日本が好きで、之を主任にして必ずやりますと言ふ。一言にしてやると言つたのです、これだけ大統領が明言すればもう大丈夫だらうと思つた。大使も非常に安心した。ヴァルガスが言へばモウ動くことはない。それでモウ三分間位になつたから大使は立たうとされたが、私は大使に「一寸待つて下さい、一言大統領に言ふことがある」と言つて大使に待つて貰つて、「モウ博覽會のことは何も言ひません、あなたがそれだけに仰しやれば間違ひないと信じますから私は言ひません。併し私は日本に居る時からあなたのことを研究して非常にインタレストを持つて居る。所が今度旅行中に新聞記事で見ると五月十一日の事件にあなたの實に沈着なる態度勇敢なる行動、それから事件後の處理を見て居りますと實に敏捷で徹底的で私は益々あなたに敬意を表す

るに至つた、その敬意を表する人と今日會つてこれだけの話をし而も博覽會の事を一言の下に承諾して戴いたことは實に愉快に堪へない。私一個人としては實に今日は愉快に堪へない」かう言つたのです。人生自ら意氣に感ずと言ひますか何か一脈通ずるものがあつたと見えて、大統領は非常に打とけて來まして、「どうもさういふお褒めの言葉を閣下の口から戴いたといふことは何人から戴いたよりも實に光榮にして嬉しい」と言ふ。それは本當ではないだらうけれども、上手ですからさういふことを言ふのでせうが、その次に言うたことが面白い。「私は平素日本人の勇敢なることに對しては實に衷心から敬意を拂つて居る、所がその日本人のあなたからお褒めの言葉に勇敢といふ言葉をお使ひ下さつたが、それは私は實に恥しいその勇敢といふ言葉は寧ろお返したい」と非常に上手なことを言はれました。それから私は「簡單であるけれども新聞記事で本當にさう感じたのです、實に私としては一種の感銘を持つて居るのだ」といふことで私は餘り長く居つては相濟まぬから立たうとしたら「どうか坐れ」と言つて勧めますから仕方なしに坐つた。所が向ふが口を開いて「日本は一體重工業資源は何處から得られるか」と訊かれた。向ふが訊くのですからこれはいゝ所に來たと思つた、此處だと思つて「日本は御承知の如く國は狭く天然資源は乏しい滿洲も考へ北支も考へたが、こんなものは逆もなつては居らぬ。僕は今度來て飛行機で通つただけだけれども、實に雄大なるブラジルといふものを見て驚嘆して居る、外に現れて居る物の力の偉いことは勿論だ

けれども、地下に埋藏されて居る物はどんなものがあるか、實に無限の寶庫であると思ふ。だから實際日本の發展せる重工業の能力とブラジルの天然資源とを結び付ければ天下無敵だと思ふ。あなたはどういふ意味で私に訊かれたか知らぬがどうしてもさういふべき運命にあると思ふのです」といふ話を僕はしたのです。さうしたら大統領は頷きながら「一體日本は鐵飢饉だと新聞に書いてあるが、鐵なら俺の方にはさうに其處らにある、併しどうも交通が開けぬ、便利が悪いから開發出來ぬが、一體日本では鐵道でも架けて呉れるか」と言はれますから「そんな事は譯はない、直ぐ出来る、ただ今支那と戰爭して居るからさういふ譯にも行かぬが、事變が濟んだら直ぐにでもやれる。ブラジルの將來を考へるとどうしても工業的に進展して行かなければならぬと思ふが、それには機械も要る、レールも要る、鐵道も要る、重工業の生産品がブラジル開發の元になるのだから、どうしてもブラジルの天然と日本の發達せる重工業の能力といふものを結付けなければならぬ」と言ふと、彼は「自分は色々なものを讀んで知つて居るが、實に日本は世界中で重工業が發達して居るといふことを知つて居る」と言つた。そこで私は「一體貴國に鐵があると云ふがその鑛石を船に積んで持つて來るといふことは大變なことだから日伯合辦で大製鐵會社をやれば宜い」と言つたら、先生は手を打つて「日伯合辦といふことは非常に良い思ひ付だからやります、必ずヴァルガスはやりますから、日本に歸つたら日本の實業家なり政治家なりに言つて下さい」かういふことを言

出したので三分間といふ會見が一時間近くになつてしまつたのです。澤田大使が驚いて「ヴァルガス大統領があんなに打解けて話をするには減多にない。どうも丸山君はをかしな力を持つて居る男だ」と言つて呉れて居りましたが、珍しいことださうです。そんな氣持でヴァルガス大統領と會ふことが出来た。私が發つ前に私がブラジルを去るまでに正式なことでもなくとも宜いが特設館を建てて参加するといふことを私に言つて貰へればアルゼンチンに行つて話をするのに都合が好いのだといふことを下廻りの人に言つて居つたのですが、併しそれも費用も計算しないで中々特設館を建てるといふことも言ひ得ないと思つて居つたのですが、丁度發つ三日前に外務大臣や交通大臣や農林大臣や民間の有力者五十人ばかりの人を招待してその席で挨拶して「話は大體申上げた通りだから、ブラジルの固有の材木で以て大々的に特設館を建て、やつて貰ひたい」といふやうに話をした所が、不思議にも外務大臣アラニヤ君が私に對するお禮の演説に徹底的な親目演説をして「日本の文化の向上、産業の發達、日本人の道德の高調、紀元二千六百年の歴史を持つ世界無比の國體だ、その紀元二千六百年を紀念する博覽會であるからブラジルは喜んで之に参加する、世界の列強のやうな大きな設備で行くことは出来ないにしても、精神的には世界何れの國にも決して劣らない熱を以て参加することを表明する」といふことを言つた。よもやアラニヤ氏がそんな演説はしまいと思つて居つたが、向ふの人が喫驚する位アラニヤ氏は明確な演説をした。丁度其處に居合せた通

商審議會の人で私と同じやうに頭の禿げて居る人ですが、その人が「丸山さん、もうこれで大丈夫です」と握手をして呉れた程でした。その翌日私の演説も向ふの演説も全部新聞記事になつてこの宴會の様子が現れて居りました、非常に空氣が濃厚になつて参りました。私の發つ時には通商審議會の幹事が来て「間違ひないからモウ歸つても大丈夫です」と云つてゐましたが、それからブラジル政府はブラジル特設館を建て、博覽會に参加するといふことを正式に日本政府に申込んで来た。これは恐らく今度の運動でイタリアの親善使節が来た時に博覽會に出るといふことを申込んで行つたのと、それからブラジルが正式に参加するといふことを申込んだのとこの二つだけでありませうが、そんな風に非常に早く話が進展することが出来ましたので、私は非常に愉快な出来事だと思ひました。

これを通して私の感じて居りますことは、どうも大統領は餘程衷心より日本が好きの人に違ひない、日本的なものが心の中に漂つて居る所がある。私の勇敢だと褒めた言葉を擱へて自分は從來心から日本人の勇敢に對して敬意を表して居るのだといふことを話し出された所から見ましても、相當強い信念を以て日本に憧がれて居るのだと思ふ。何にしてもブラジルに於ける施設といふものはイギリスの資本、アメリカの資本が入つて總て英米依存の國である。殊にブラジルが可なりファッシの傾向に行きはせんかといふことを心配して相當アメリカが努力をし力を入れて居る。陸軍も海軍もさうです。今驅逐艦を三艘造つて

居るけれども、皆アメリカの人が来て金もアメリカが出して居るし、技師もアメリカから来て居る。それは相當なことで手を盡して居ると思ふ、汎アメリカニズムの流れの結果でありますけれども、さういふ譯であります。中南米を通じて私の考へることは何れの國もどつちが少いか多いが厚薄の別はありますけれども、英米の資本が多い。アルゼンチンの如きもイギリスの資本が非常に多い。八億磅の中で五億磅がイギリスの資本、一億五千萬磅がアメリカの資本ですからアルゼンチンに行くといギリスに依存して居る所が多い。さういふ譯でその國々に依つてアメリカに餘計依存して居るかイギリスに餘計依存して居るか程度の差はありますけれども、兎に角英米依存の國である。それだけ資本を投下し、それだけ財政上の力を持つて居りますと、可なりその國の經濟方面に於ても政治方面に於ても接觸する場面が多いので、隨て英米人に對する肚の中の反感といふものは私は相當あると思ふ。色々なことであれは生意氣だとか、あれは威張つて居るとか、あれは無理を言ふとか、さういふ接觸面が多いから肚の中では中南米を通じて財界人の中でも政治家の中でも、英米の奴はどうも氣に喰はぬことをいふことがあると思ふ。その點では我國は遠く離れて居りますし、財政的にそんなに深い因縁がないから憧れを持つて来る。殊に段々興隆して行く日本の姿を見て居りますと日本に憧がれて来る。

併し實際現れる政策としては英米に楯を突くことは出来ません、さうしたらその國の政治も財政も經濟

も保てぬことになります。併し本當の肚の中では日本を思ひ日本を憧れるといふ氣持は、これを通じてあると思ひます。これは各國の大統領、各國の實業家に會ひましたが私の感想から申しまして、確に私はその事は共通に言ひ得ることだと思つて居ります。さういふ風なことでブラジルは巧く行つたのであります。この大統領がその地位が確定して在職して居る間は、私はブラジルに色々な問題が起りましたも結局日本人にそんなに不利に轉回して來ることはない。本當に肚を決めてこの大統領を目當てに努力しますれば、必ず日本移民としても前途やり得る餘地が非常にあると思ふ。色々な問題がこの頃はありますけれども、それがあつて見た所で終局の所は必ず巧く解決することを私は信じて居ります、どうかしてそんな連絡を私個人としても保つて置きたいといふやうな感じを持つて居ります。

八 サンパウロの奥地に在留邦人を訪ふ

サンパウロの奥地は私は一部分しか見ません。併しこれも後から考へれば實に亂暴なことで、サンパウロの坂根總領事が打合せの爲に來て居つて二度も會ひましたけれども、サンパウロの奥地には年寄は行けないから俺と市川君とで行く、この二人は少々蹴つたり叩いても死ぬやうな男ではない、どんなことでもやるから無理になつても一箇所でも餘計見せるやうな計劃を樹て、貰ひたいと坂根總領事にお願して居つ

た。サンパウロに着きますと、彼處の領事の淀川君が市川君に「どうも汽車では時間が掛つて仕様がなから特別の飛行機を雇つて置たが宜いでせうか」と相談したから「それは宜いさ、金は掛るけれども、又と來ることは容易に出来ることではないからこの機會に見たら宜いぢやないか」といふことで、特別の飛行機をサンパウロから出すことになつた。サンパウロの飛行場で愈々奥地に行く飛行機を見ますと六人乗で非常に汚い、私の考では航空路はちやんと開けて居るけれども大抵一週間に一回位しか飛ばないから、その日に飛行機がないから特別に雇つたのだと頗る善意に解釋して居つたのですけれども、總領事から一人青年雇員を私共に附けて呉れました。それから奥地でコーヒー園をやつて居る多羅間君と四人で飛ぶことになつた。天候も曇つてゐたが、雲の中に行つて大轉回して四十分もしたら又元のサンパウロの飛行場に來た、「これはどうしたのか」と操縦士が獨逸語で市川君が獨逸語が巧いものですから話をした、「他の飛行機は發つて居るぢやないか」と云つたら「他の飛行機はちやんと高度計もあれば天體の觀測機もあり無線電信機もあるが、この飛行機は私の目だけで行くのだからあんな曇つた所は迎も駄目だ」と言ふ。それからマリリアへ飛ぶのですが、マリリアで同胞諸君が待つてゐては大變だからといふので、市長さんの所へ電話を掛けたら向ふの方は天氣ですといふ、「飛行場には電話がないか」と言ふと「飛行場には何もありません」と言ふ、航空路が開けて居るのに飛行場に電話がないとはをかしいと思つて居つたのですが、向

ふが天氣だと言ふし晴模様になつて來たから又出て行きますと言ふ。「今度は大丈夫か」と言ふと「いけなかつたら又歸ります」と言ふ。この操縦士はドイツ人ですがまだ一遍もマリリアに行つたことはない。それから段々行きますと、その操縦士が地圖を擴げながらボーイと打合せながら進路を決めて居るらしい。それを私は一寸見せて呉れと言つて見せて貰つた所が、鐵道地圖の上にサンパウロとマリリアの間を赤い線を引いて居る、この線の右に出るか左に出るかで進路を定めてゐるらしい。これは大したものだと思つた。それから愈々マリリア近くに行つたら操縦士は望遠鏡で見て居る、その望遠鏡で見て居る間はボーイが後ろの方から手を出して把手を握つて居る、併し技術は非常に巧いもので何でも飛行場が初めて出來て州統領が二週間程前に一遍飛んで來て降りた。第二番目に降りたのは私等だといふのですから、まだ航空路は出來て居らぬ所なんです。併しこれだけの計畫をして呉れましたからバストスに行つて翌日又マリリアに歸つて來てリンスに行きリンスから多羅間君の耕地まで行き、それからバウルまで行つてバウル附近を見てその夜發つてカンピーナスに行つた。それだけを僅に四日の間でやりきることが出來た。これは非常に大膽な計畫であり、計畫する人も大膽であり、乗る人も知らずに居つたのですけれども、大膽にやりましたので奥地のことを見ることが出來ました。

この奥地のことは皆さん御存じのこと、思ひますから申上げませんが、兎に角非常な力強さを感じまし

た。農業方面のことは皆さん専門で能く御存じだらうと思ひます。ただ祖國を遠く離れて居れば居るだけ、非常に事變に關係して祖國愛を持つて居る、國防獻金だとか、恤兵獻金だとか、慰問袋だとか内地でやつて居る以上の熱を以てやつて居ります。これは獨りブラジルばかりではなくアルゼンチンでもチリーでもペルーでも到る處祖國愛に燃えて居る在外同胞の精神に觸れて非常に愉快に感じました。殊に奥地邊りで畔に違つた木が植つて居るので、「あれは何か」と訊きましたら、それに成る實を絞ると油が出る、それが飛行機に要る油になる、皆申合せてその畔にその油の出る木を植ゑる、勤勞奉仕でさゝやかなりともその實を取つて日本に送つて來るといふことでありました。それは非常な意氣込でした。殊に祖國を離れて長くなるものですから、私が行つたので話を聞きたいといふことで、バストスに着いたのは日が暮れて遅くでしたが講演も致しました。マリリアも往つた翌日ですけれど其處でもやりました。それからリンスは午後九時頃に着いたけれども、此處でもやり、翌日パウルーに着いたのは夜でしたが講演をやりました。私は随分酷い旅行をやつて疲れて居つたのですけれども、さういふ人達の熱意に感じて支那事變の真相なり祖國日本の實情なりを説いたのであります。

それからアルゼンチンでもチリーでもペルーでも講演させられたのですが、皆實に熱心でえらいものでした。殊に君等留守の間に日本はかういふ風に發展して來たのだ、要するに世界中が寄つて悪口を言つ

て居るのは、興隆日本の姿に怯えたり妬んだりするその現れである、少々外國で悪口を言つてもそれでへこたれることはない、喬木は風當りが強いと言ふが、兎に角喜んでこの風に當るだけの覺悟を持たなければならぬと、私が興隆日本の姿を説いたら皆ハンカチを出して嬉し涙を流して居る。さうまで日本が強くなり大きくなつて居るか、といふことを今迄考へて居らなかつたのに、話を聞いて見るとさういふやうな譯ですから、實に皆熱心で五籽も十籽もの山奥の耕地から出て來て話を聞いて居る。何處でも皆一ぱいです、外に立つ程までに皆盛況でした。話を聞いて十二時頃になつて、又自分の耕地に歸つて行かなければならぬのですけれども、一人だつて途中で立つ人はありません、一人も咳拂ひをする人はありません。これだけの熱意を捧げて講演を聞かれることは、一寸近頃には珍らしい位でした。それから私がリンスを何時に出るといふことを聞いて居るのでせうが、何時頃にはどの邊を通るから一寸でも顔を見たいといふことで、コーヒー畑の途中で私を見送つて呉れる。殊に廣島縣人が多いので、私も知人が相當あるですが、實に感激の場面でした。私はかういふことに接して來て熱々思つたのですが、兎に角日本の相當の人達がモウ少しあゝいふ所に行つて、本當に實情を見てやり激勵の言葉を掛けてやらなければ嘘だ。要するに内地で色々なこともあつただらうけれども、志を抱いて向ふに行つたのだから、平和の戰士として日本の先驅として彼處で奮闘して居る、彼等を本當に慰め彼等を刺戟するやうなことを時々企てゝ宜いのだといふ

ことを、私は今度非常に感じました。この話は方々でして居るのですが、貴族院議員さんで来て呉れたのはあなたが二度目だ、今井伍介さんが初めて来て呉れたが、あれは南米にコーヒー園を持つて居るからだ態々本當に吾々を見に来て呉れたのはあなたが初めてだと露骨に言つて居りましたが、歐米に色々な人を派遣することも必要でせうけれども、そんなことは大した利益もないですから、モウ少しかういふ方面に有力な人達が行つて、本當に在外同胞の氣持に共鳴をして、さうしてこれ等の人達を本當に激勵してやることは益々祖國を思ひ此處で頑張つて日本の爲に本當に將來礎石を失はないやうにしてやらなければいけない、といふやうな氣持が一層湧いて来るだらうと思ふのであります。かういふ點を特にお考へ置き願ひたいといふことが私の希望であります。

九 ナシヨナリズムの擡頭と第二世の教育問題

ブラジルではサンパウロの如きは二十萬も日本人が居るのですから、第二世が一年に三千五百から七百名位生れて来る。この二世の問題が相當私は大きな問題だと思ひます。この問題は非常に大きな問題で、今晚一晩で何もかもお話するといふわけには参りませんが、ただリンスには非常に立派な大きな新しい青年會館が出来て居る。これはリンス地方の青年會の連中が先輩の援助に依つて建てた、恐らくサンパウロ

に於てもあんな會館は他にない。日本人會といふのは非常に狭いのですが、立派な青年會館が出来て居る。その青年會の會長である若い何とかいふ青年に會ひましたが、非常に確つかりして居る。講演が済んだ後青年だけで私に話を聞きたいといふので、青年會員だけに會ひましたが、實に愉快的印象を受けたのです。そこで私共は非常な手ぬかりをして居つた、日本で青年團運動をやつて居るが、どうしてこの在外青年のことを考へなかつたのか、或は青年の新聞を出し、青年雜誌を出し、或は青年カードといふやうなものを出してあれだけ天下に普及して居る。同じ日本の青年で海外に出て働いて居る者に、日本語を教へ日本教育を何故やらないかといふことを非常に痛感したのです。これなどは非常に簡単なことですから向ふのブラジル教育普及會か何かに連絡を取りまして、日本の青年カードでも送つて、日本の青年は如何にして生き如何にして活躍して居るかといふことを知らしてやる、又向ふの教育會と連絡を取つて、向ふの青年は如何にして活躍して居るかといふことを、此方に知らして内地の青年を奮起させる上に於ても非常に大切なことである。市川君は青年團の世話をもして居りますから、私が話してやつたら非常に感激して居りました。獨りブラジルだけではない、アルゼンチンでもペルーでも、北米合衆國の青年達でもモウ少し連絡を取つて内地の青年とさう云つたことで結びつくことに依つて、本當の日本的なものが植付けられる。先日青年團の理事會でも一寸話しましたが、理事會でも非常に感銘されまして、さういふこと

を研究して皆さんの所にも御相談に出掛けて来るだらうと思つて居ります。これはブラジルで一番に感じ、その後ペルーでもアルゼンチンでも私は感じたのですが、アルゼンチンでも「丸山先生に物を訊く會」といふので、青年だけが集つて青年が私に物を訊いて答へて貰ひたいといふので、私それに出て話したのですが、その中二割は日本語が分らないので通譯を付けなければならぬ、通譯を付けては質問應答は出来ないぢやないか、それでは僕が話をしてその話の後で通譯を付けて質問應答をやらうといふことでやつたのですが、その時に考へた、その中の二割は日本語が出来ないでスペイン語しか出来ないといふやうな青年が居る。これは相當考へなければならぬといふやうな問題に方々で私はぶつ付かつたのです。その時にも、私は歸る時に海外興業の宮腰君などには、先づ青年指導の爲に僕は歸つたら田澤義鋪君にどうしても來て貰つたら宜いと思ふが、兎に角日本の青年をあれだけ手に掛けた人である、だから此處で二ヶ月か三ヶ月日本の在留民青年が澤山居る所に一夜講習なり二夜講習なり、出來れば體操の松本先生と一緒に來て貰つて、如何にして青年は活動すべきかといふやうなブラジルの型を拵へて貰つて、それで教育指導者を一人置いて段々青年團員に働き掛けたら宜いぢやないかと申した位であります。私はリンスの青年會長に色々話をしたのだが、その後どう進んで居るか知らないが、ブラジル全體の青年聯合組織をやらうといふ運動が猛然として起つたといふことであります。さういふものが出來ればさういふものと連絡して行け

ば非常に結構だと思ふのです。之を學校とか何とかいふことになる、向ふの規則が非常に喧しい、又國語を教育するのだといふことになればいかぬですが、さうでなしにかういふ行き方で青年の士氣を振作するといふやうなことは、一つどうしてもお考を願ひたいと思ふ。だからどうしても田澤君に行つて貰ひたいと言つたのですが、誰から言つて來たかこの間歸つて來たら田澤君が「丸山さんは俺を契約移民にして來た」と言ふ、「何のことだい」と言つたら「誰々が俺に南米に行け行けと言ふ、丸山さんは俺を契約移民にして來た」と言ふ。私は田澤君はまだ健康が許さぬから今年の問題にはならぬと思ひますけれども、來年の氣候の好い時にでもなつて田澤君の健康が許せば向ふへ行つて本當にあの地の青年と裸と裸で接したら非常に良いことぢやないかと思つて居ります。これは私は現地で感じた一つのことでありませうけれども、かう云つた考へ方でやつて行けば、段々生れて行き段々大きくなつて來る青年達に何物かを植付けて行くことが出来るだらうと思ひます。かういふことを一つお考願ひたいのが私の一つの希望であります。

それとブラジルの問題では、この間の移民法の改正に依つて十四歳以下の子供にその國の國語を教へることが出来ないといふこと、モウ一つは先生を皆生來のブラジル人になければいかぬといふ規則が出来ました。モウ南方の三州のドイツ人の學校、イタリー人の學校にはドン／＼その規則が適用されて、それに違反するものは皆學校の閉鎖を命じて居る。そんな關係でサンパウロの日本人學校の方にも、丁度私が

居ります時ですが、サンパウロ州の學務長官から各視學に實情を調査するやうにといふ命令が出て來た。調査すればそれに違反して居るものがあることは勿論ですから、結局ドイツ人の學校みたいにドン／＼閉鎖を命ぜられるのぢやないかといふことで心配して居りました。サンパウロ州に居りますと、彼處に三つ新聞がありますが、それが子供には日本語の教育が出來ないやうになると言つてやい／＼書き立てゝ居る。これでは日本人の移民は出來ないといふやうなことを盛に書いて居る。私はその新聞を書く人に會ひました時に、「一體君等は意氣地がないぢやないか、さうでなくても移民の人達は心配するぢやないか。あの千人からの學校教員はどうなるのだ、さういふ馬鹿なことを新聞社が先に立つて書く、何故書くか、本當に同胞諸君を慰め激勵すべき立場に居る新聞がこんな悲觀的な論説を書いてどうするか、モウ少し元氣を出して激勵する記事を出したら宜いぢやないか」と言つたのですが、大使も非常に心配されて居ります。又私はサンパウロで州の學務長官に淀川君が會ひに行つてその間の交渉の事實や外務省に報告した事實まで色々見せて貰ひましたが、これは相當厄介な問題でせうけれども、大體日本人に對する悪感はないやうであります。イタリーはファッシ、ドイツはドイツの國粹主義といふものを發揮しますから、日本は結局巻き添へを食つたものと言つても宜い。それから奥地に入ると、「奥地の人達は子供のことに就て心配か」と訊くと「奥地はそんなに心配しません、一時は困るけれども何とかやりますよ」と言つて却て奥地の現

實に觸れて居るの方が元氣で私は非常に愉快に思つたのです。どうもナシ・ナリズムが強いので國旗を立て方なども色々言つて居る、私が居ります間にアルゼンチンもチリーもさうでありましたが、國旗を立てる時には右の方に自分の國を出せといふやうなことを、國旗掲揚規則で何處も彼處も言つて居るので、どうせナシ・ナリズムであんなことを言ふのだらう。だから奥地の方でどんなに日本の方に工合が好いといふ所でも、ナシ・ナリズムは日本人にも來るだらう、日本人の眞價は認められて居る。殊に移民制限法があつて聯邦議會であんなことがあつただけに、日本人の眞價といふものは一層ブラジル全體に認められて居る、だから日本人は結局延びて行くことが出來ないことはないと思ふ。伯國に於ける日本人の地盤は十億や二十億の金で買へることの出來る地盤ではない、二十萬人の諸君が占めて居る地盤といふものはどんなことがあつても地に喰ひついても維持して行かなければならぬ、これ諸君が日本に對する本當の報國の精神である。北支に行くのだ、滿洲に行くのだといふことを相談する人があるけれども、それは以ての外だ。だから私は此處で一人でも餘計子供を生んで一人でも多く殖やせと言つて來たのですが、此方に歸つて來ても方々の講演會で始終言つて居るのです。滿洲の移民も勿論大事だ、若い奴等がこせ／＼して日本内地でやつて居らぬで滿洲に行つたら宜い、けれども滿洲に行つて居るから南米はどうでも宜いと云つて放つて置くのは間違である。兎に角南米は無限の寶庫であり圖り知るべからざる資源を持つて居る

これは神様がとつときにして居つたものだ、ヴァルガス大統領が私に言うたやうに、鐵なんかは南米には一ぱいあるのだ。まだ調べてはないのだけれども、私は興隆日本として將來本當に結び付いて行く所がブラジルであるとするならば、この天地に日本人が一人でも多く力を延ばして置くといふことが、遠い將來の日本の興隆を考へる時にこれ位大事なことはない。だから滿洲移民をやるから南米はどうでも宜いといふことは大間違である。滿洲にもうんと移民をする。ブラジルにも移民制限法で許される範圍内は一人でも多く入つて行かなければならぬ。南米の方を放つて置いてはいけない、かういふ氣慨が起つて來なければならぬと思ふ。ですから私は随分忙しい身でありながら、若い人達の所に講演を頼まれて行つたら必ずこのことを話す。私は今日も拓殖大學に行つて、大方三時間述べて殆ど他のことは言へませんからブラジルとペルーのことを話して來た。この間郷里の廣島に歸つた時に、私の出身の中學校で土地の中等學校の上級生を全部集めて呉れと言つて大きな學校ですが一ぱい集めて貰つて、私の發つ日の午後一時から午後三時二十分まで、三時五十何分の汽車に間に合ふまで講演しまして確つかりやれと激勵して來ました。

十 ブラジルの對日好感

ブラジルが如何に日本に對し好い感じを持つて居るかといふことの例だが、私がリオを發つてサンパウ

ロに参ります二日前にサンパウロの總領事館から電話で州統領から、「丸山使節を滞在中州賓を以て待遇したいと思ふがお受して頂けるか」といふ照會があつたからどうせうかと問合せがあつた。私は博覽會の招請事務が済んでサンパウロに入るのは邦人の活動状態を見たいので行くのだから、州賓の待遇を受けるのは勿體ないから斷つて呉れと申しますと、翌日又總領事館から電話が掛つて來て自分自ら斷りに行つたら、「州統領はどうしても受けて呉れるやうにとの事であるから、あなたは奥地に行くからサンパウロ滞在中の二日間は受けた方が宜いと思つて、私は受けて來ましたから……」と言ふことでありましたから、私は總領事にお任せしてサンパウロに乗込んだのです。キューバの國賓の時にはさう大したことはありませんでしたから、況や州賓に於てをやと思つて入つて行きましたら、愈々サンパウロ飛行場に着いて見ますと州統領代理が來て居るし軍隊が來て居るしえらいことである。私は飛行機旅行ですからモーニングも送つてしまふし、シルクハットもありませんし、不斷の縞ズボンと背廣で行つて居つたのですが、流石に總領事は心配してシルクハットを三つ持つて來て呉れましたが、結局迎への自動車に乗りまして州統領代理はシルクハットを冠つて私の左に乗りました、警察官が私の前に乗つて居る、自動車が動き出すと初めて氣が付いたのですけれども、オートバイの儀仗兵が前後に隨いて前の方は非常な勢ひでピーク／＼笛を吹いて飛行場からサンパウロの町に入つた。その町の一番大きいホテルに行つて見ますと、ホテルの

ドームの上に大きな日章旗が翻つて居る、迎もえらいことになつてしまつて得意満面でした。片方はシルクハットを冠つて居るが、此方は禿頭を見せ帽子を冠らずにホテルに行つたのですが、ホテルに行くとき陸軍大尉が二人出て来て「州統領の命令でお付きを申し上げます」と言つて甘利君と僕に一人宛御附武官が附いた、實にえらい待遇です。それから正式訪問で儀仗兵附で州統領を訪問した。その次の晩に州統領が盛大な晩餐會を催された。州統領も態と平服で出て来て、ザツクバラに「私は元來婦人科のお醫者さんで政治なんかやつたことはないので厭やなんだけれども、ヴァルガス大統領と懇意でヴァルガスがやれと言ふから仕方なしにやつて居りますが、この頃は寝る暇もない位忙しい」といふやうなことまで喋べるのです。誠に愉快な宴會でありました。私は飛行機で奥地へ行つたが、奥地へも州統領の命令が行つて居るので市長や警察署長が必ずと迎へに来る。リンスなんかは朝七時半に發つて行つてリンスの學校や色々なものを見て、それから多羅間君の耕地に行くといふ豫定になつて居つた。滅茶な旅行をして居つて風呂にも入らぬし小さな砂の埃がワイシャツの中に入る、それにホテルには風呂もないので随分汚れて居つた。朝になると市長と秘書が訪ねて来て「一寸でも市廳に寄つて下されば光榮の至りです」と言うて居る、實を言ふと時間があれば一寸寄つて名刺位置いて來なければ敬意を失すると思つたので、市川君を伴れて市役所へ行つた、玄關へ行つて見ると出迎へに来て、朝七時半だといふのに眞白いテーブル・クロスが掛つ

てシャンペンが並べてあるし摘み物まで並べてある、此處で餘り時間が掛つては困ると思つたですが、ポ〜とシャンペンを抜いて呉れるから有難うと言つて飲んだら市長さんがポケットから歓迎文を出してペラ〜と二、三枚もポルトガル語で読み上げる。通譯が居らぬから自動車の運轉手に「ポルトガル語の分る奴を伴れて來い」と言つてやつたら藥屋の息子を伴れて來た、向ふの言うたのは何を言うたのか分らぬが、私はただ有難うございますといふことだけを通譯させてやつたですが、兎に角田舎に至るまでそんな風でした。

私の發つ前の晩は放送局で州賓に敬意を表する爲に、日本の音曲の放送をやるから若し時間の都合がつけば放送局に来て呉れといふやうなことで、その晩は州統領以下御馳走して居つたのですが、男ばかりの宴會ですから直ぐ濟むだらうと思つてその時間に大抵間に合ふやうに行くと言つて置きましたが、少し遅れて十時四十分に入つて行きますと、日本の放送局と違つて放送の現場で聞くやうに設備が出來て居る、その現場に入つて行くと大きなオーケストラのバンドで日本の君が代を二回やつた、それから何音曲か知らぬがそれをやつて又君が代を二回やつた、これはブラジルで初めてだといふことでありました。さういふやうな待遇を受けて在留同胞は非常に喜んで居りました。兎に角一介の博覽會の客引が州賓になつて、さういふやうな敬意を表して呉れた、これは何も一介の丸山鶴吉に敬意を表したのではない、日本といふ

國に對して敬意を表したのですが、恐らく大統領がやつて英米の目に付いてはいかぬからサンパウロでやれといふ風にしたのぢやないかと後からは想像するのですが、サンパウロでさういふやうな優遇を受けました、非常に愉快な思ひ出であります。

十一 バンバの王者伊藤博士に會ふ

餘り遅くなりますからブラジルはそれ位にして置きまして、その次にアルゼンチンに参りませう。後はアルゼンチンもペルーもチリも移民は餘り入れて呉れない、パラグアイは今拓務省のお骨折で移民が入つて居りますが、これは勿論パラグアイに出掛けて行きましたが、一晩しか泊らなかつたのです。丁度チッコの問題が喧しくてちやんと外務大臣も商工大臣も約束をして居りましたが、急に閣議が開けて丁度アメリカの大使が乗込んで来て居る時でして、ただ話だけして歸つて来たのですが、無論移民地は視ることが出来ませんでした。その晩拓務省の方からお出でになつて居る方にお會ひして色々なお話を聞きました。其處では餘り詳しい話も承らぬでしたが、その後アルゼンチンに滞在在中ですが、此方にも来て居るだらうと思ひますが、可なり彼處の移民から歎願書、請願書が来て居る、私も見ましたが、多少一部には不平を持つて居る、何人かアルゼンチンに逃げて来て其處で何か歎願をするといふので、その點は相當穩かには行

つて居らぬやうでありまして、この點は無論御承知のことと思ひますから詳しくは申上げませんが、何か落着いて居らぬやうであります。

農業の成績は非常に良かった、金を千圓も二千圓も残した人があるといふことをパラグアイでは承つて行きましたけれども、どうもそんな状況でもないやうである。アルゼンチンには拓務省の内田といふ人が行つて居る、これも色々話を聞きましたが、この人は非常に眞剣な人ですから餘り言ひませんので眞相は私も突き止めませんでした、幾らか二つの移民地ともごたくして居るといふことは事實のやうであります。何かの關係で落着いて行けば非常に良い所だといふ内田君の話でありましたが、十分開拓して貰ひたいといふ希望があつたさうであります。兎に角内田君があんな所に居るといふことは知らなかつたのでこれも不思議な縁と言へば縁でありますが、私が二十一年前初めて外國に行く時に同じ船で渡つたのです、その時には内田君は津田英學塾か何處かを出た奥さんを貰つてまだ新婚の夫婦でした、船の中で此方が妬ける程仲が良かった、内田君は駒場を出た農學士で細君はお茶の水を出て津田英學塾を出た何とかいふ英語の先生の姪だといふ。「何をしに行くか」と言ふと「運命を開拓しに行く、日本のやうに狭い所に居つては駄目だ」と言ふ、若かりし私は感奮して農科大學を出て新妻を携へて北米に行くといふことは、良いことだと僕は感激した。而も奥さんは琴を持つて行つた、それから内田君は船の中で奥さんに「琴を弾

「ぜよ」と言つて琴を弾かせて呉れた。その後私は消息は知りませんでした。アルゼンチンに行きました。所が私は内田君に會つて「いつか太平洋を一緒に渡つたことがある」と言はれた、瞬間に「それならあなたの奥さんが琴を引いたことがありませう」と言つたら「さうだ」と言ふので、初めて昔の二十一年前の物語りを思ひ出したのですが、この内田といふ人がアルゼンチンで可なり盡力されて居りまして、アルゼンチンの野菜畠や花造りを同君の案内で視て廻りました。今度は主たる仕事は博覽會の用務であります。が、少しの暇でも足を惜しまずにアルゼンチンでも花屋さんも大分歩きましたし、野菜屋さんも大分歩きました。本當に現地での指導して居られる。野菜の方では石川先生など盛岡の高等農林を出て三十年も辛苦粒々やつた人ですが、その石川さんの家を訪問した時知りましたが、同氏は晩婚で、四十幾つか五十幾つになつて細君を貰つた、細君は若く子供が幾人も出来て世話をして居るのですが、實に親切な細君で私などが行くと何か食はさうとして牛肉を焼いて出して呉れました。此所は蠅の多い所で、初めは壁の模様かと思つたですが、それが模様でなくて蠅なんです。パンを出せばパンに一ぱいたかるし、實に蠅が多い、所が石川先生の家に行つて蠅を追ふと氣に入らぬといふので随分こらへて居るのですが、先生はどうするかと言ふと先生はちつとして居る、決して追はぬ、ただ眼鏡と眼の間に入つた時だけ一度蠅を追はれた。石川先生の家で蠅を追ふと叱られると言ひますが、成程本當だらうと思つた。兎に角あの人は野菜栽培

培の先驅者で、石川先生の印象は殊に深い。そんな風で兎に角日本人が努力奮闘して居る形跡は本當に頼母しいと思ふ。野菜でも第一等の野菜は日本人の手に依つて居る。四千五百人位ヴェノスを中心に居ります。

又花の方では毎年品評會で大統領賞といふのが出ますが、モウ五箇年續けて大統領賞は日本の花屋が貰つて居る位でありまして、非常に研究して良い花を作つて居る。御承知の通りヴェノスアイレスは南米のバリーと稱せられる位非常に綺麗な町であります。リオも人口百八十萬恐らく私は世界第一の立派な港だと思ひますが、河岸に臨んだ實に立派な町であります。ヴェノスアイレスは全く平地にあつて、周圍の人口を集めれば今日三百五十萬人も人口があるでせう、實に華かな所ですから花なんかは非常に使ひますので、この仕事なども非常に盛になる。それから組合組織が段々に盛になる、共同出荷、材料の共同購入といふことが段々容易に行はれつゝあるやうです。

私は日本の農村の生きて行く途も共同作業にあるのだからと言つて、共同作業を奨励して來たのですが、その事務所にも行つて見、それを運んで行くトラックにも乗つて見、さういふ方面も奨励して参りましたが、ヴェノス以外の奥地に行くことは出来ませんでしたから、伊藤清藏博士にも會へないかと思つて居りましたが、幸に「アルゼンチンの農業の將來」といふ講演をする爲に態々ヴェノスの大學に出て來られま

したので、パンバの農園で七千町歩の農園を經營して居るといふ伊藤清藏博士に會つて來ました。

細君はドイツ人でドイツには歸つたことがあるけれども、日本には歸らないといふ方で、私は一度日本にも歸つて來るやうに四十年の博覽會の時に歸られるやうにと勧めましたが、博覽會が止めになりましたから恐らくお歸りにならぬだらうと思ひます。まだそんな安心が得られぬのだといふやうなことを言つて居りましたけれども、併し先生はどうしてもアルゼンチンと日本は將來結び付かなければならぬ、アルゼンチンは非常に土地が豊饒で氣候が好いものですから小麥、玉蜀黍その他雜穀が能く出来る。土地が廣いのには人口は千二百五十萬で馬や羊や家畜類が非常に澤山ですから牛肉などは非常に安い、だから牛肉などの生産業が盛んです。さうすると生産物が北米合衆國と同じですから、北米との貿易關係はあまり振はない。パンバはイギリスの倉庫なりと言はれる程此處からイギリスに食糧が行つて居りますが、段々植民地の産業が発達して來ますと、イギリスの植民地から小麥でも玉蜀黍でも取らなければならぬ、さうすると肉類でもオーストラリヤで出来るのですからイギリスとの關係も面白くない、どうも日本と此處の間が結び付いて行かなければならぬ、自分はさういふ運命を持つて居ると思ふ。さういふ譯だからアルゼンチンと日本との關係は將來密接に結び付いて行かなければならぬ、此方は俺がやるが日本の方は君が歸つたらさういふことを大いに宣傳して呉れと言つて居りましたが、これは一部の眞理があるのだと思ひ

ます。此處でも私が會つた限りの實業家、政治家といふやうな者もやはり心から親目的な考を非常に持つて居ります。殊に今、日亞協會の會長をして居られますガリシヤ提督といふ非常に温厚篤實なアルゼンチンの東郷元帥だと言はれて居る提督が居られますが、これは屢々會ひました。宴會の席上で三度ばかり一緒になりましたが、何時も席が私と隣り合になり且つ英語を話しますから意思の疏通が能く行きて非常に愉快でしたが、そんな人は心から日本を崇拜し日本に對して良い感情を持つて居ります。尙ほ私は在留邦人の一軒の家に招かれて行つたことがありますけれども、其處等はモウ徹底的に日本的です。さういふ所でなければ勿論御馳走せぬに限つて居りますけれども、さういふことが頻りにあります。私は此處等の小さい國をズツと歩いたですが、兎に角一種の憧れを日本に對して持つて居ることだけは間違ひない、有識階級、有産階級、權力階級は持つて居ると思ふのであります。

それからチリーに參りました、チリーでも去年經濟使節團が日本に參りました。その團長のエラスレスといふ人なども非常な感激で、あれ以後は日本に對する認識を改めた。チリーは大體日本と地勢が似て居りますし、火山も多いし、風光も日本に似て居ります。殊に南の方は日本に歸つたやうな氣持のするところですが、さういふやうなこともありませうが、非常に親目的な氣分を持つて居ります。この國の大統領に會つて見ましたら何も言はない中に、「去年は經濟使節團が行つて上下を擧げて非常に歡待して呉れて有難

かつた、自分も豫ねく日本のことは本などで色々読んで研究して日本に憧がれて居つたが、殊に經濟使節團が歸つて来て訊いて見ると、一層日本に對して敬意を表するやうになつたのだ」といふことを開口一番大統領が私に話を始める位で、兎に角理解なり親善なりといふことは、巧く行つて居ると思ふのであります。

十二 ペルーに於ける沖繩縣人の發展

それから色々なことがありますけれども、ペルーだけは話さぬわけに行かぬと思ひます。ペルーは又移民の關係で四十年の歴史を持つて居る移民地であります。此處に二萬二千人ばかりの在留邦人が居ります、その中の一萬二千ばかりは首府のリマとカイヤオを中心にして居ります。二萬二千人ばかりの中で大方一萬の人は沖繩縣の人で、沖繩の人が移民の先驅者で段々沖繩縣人を呼び寄せた關係もありませうが、沖繩縣人は非常な勢力を持つて居ります。

博覽會中止のことはチリーで電報を受けたのでありますが、私はリマでは色々な人に會ひました、外務大臣にも會ひ總理大臣、大統領にも會ひましたが、殊に博覽會係の人々は非常な力を寄せて呉れまして、恐らくこゝも特設館を建て、呉れる段取にまで行つたらうと思へた程でありました。係長にお禮に行つた

らこの間ペルーに建つた特設館はかういふので、日本に参加する時にはどういふのを建てようかといふことを自分では密に考へて居つたのだといふことを言つて呉れた位でありましたから、非常な好意を持つて居つたのであります。博覽會は中止になりましたから私は出来るだけ日本人の活動の模様を視て歩いたのですが、ペルーには多く農業移民として入つて来て段々儲けた金を持つた百姓がリマを中心にカイヤオの町に出て來ました。勿論散髪屋をやつて居る人もあるし、洗濯屋をやつて居る人もありますが、併し可なり目拔の街に店を出し豊富な品物を以て非常な勢で買手が入つて居る店がありました。それから日本人の多い街には食料品店、雜貨屋などが可なりあつて商業的にも日本の在留邦人は發展して居る。これは他では少いだらうと思ひます。ハワイなどが最近さういふ傾向にあります、マア少いだらうと思ひます。

モウ一つこれは聞いて面白いと思ひますから私は訪ねたのですが、工業の發達してゐないペルーに工業的に進出することを在留日本人が考へてゐます。私の見ただけでは市川といふ人が帽子製造工場をやつて居る。これはペルー全體の帽子を供給する位にやつて居る。餘り大きな規模ではありませんけれども、メリヤス襦衣を造る工場が日本人の經營になつて居る。それから電氣器具を造る、護謨製品を造る、これは護謨毬位しか造つて居りませんが、勿論大規模ではありません。それから自動車の車體を造る工場を持つて居る。全部行つて見まして大いに激勵して來ましたが、かう云つたやうに工業的に進出して行くといふ

ことは非常に良い考で、兎に角ペルーの人がやり得ない仕事に新生面を拓いて行つてゐました。ペルーの日本人會が色々な意味で活動して居りますことは皆さん御承知の通りであります。これは海外の日本人會としては特殊の存在と特殊の活動をして居ると、非常に褒めて感謝して宜いことであると思ひます。それからチャンカピバレーへ行つてペルー棉花會社の事務所に一晩泊めて戴きました。岸君の關係のレテス産業會社の農場を視ました、それから三千何百町歩の棉をやつて居る岡田といふ人に會ひましてその農場を視て参りました。チャンカピバレーの一萬五千町歩の中、日本人が七千町歩もやつて居るのであります。それで一種の心強さを感じました。ペルーは移民の關係があゝいふ風になりましたので困るのですが、將來を考へて見れば日本人の發展地としては面白いのぢやないかと思ひます。ペルーには丁度星一君が滞在して居られました。豫て手に入れて置いた土地に關する問題のことで折角談判をしてゐるといふことであります。

十三 コスタリカの親日家

さういふ所を経てパナマに参りました、パナマも面白い所があります。コスタリカも今、中南米輸出組合でコスタリカで輸出するものがないから、彼處で日本人の手で棉を植えてその棉を輸出して日本の物を

買ふやうにしようぢやないか、と云つたやうな考へ方から棉の耕作を始めたのであります。その棉の耕作地を視に行きました。まだ極く小規模で大したことはありませんけれども、さういふ風なことで日本の貿易を振興することが出来れば宜いと思ひます。コスタリカで前大藏大臣と現に中央銀行の副頭取をやつて居る人に迎へられました。兩人は去年日本に來遊されたといふことであります。コスタリカの首府から飛行場までは非常に遠いのですが、其處まで迎へに來て呉れて居りました。それから宿に着きますと、やつて來て四時頃になつて取敢へずお茶の時間だからお茶を飲みに來て呉れぬかといふことであります。此方は今まで知らぬ人ですが、折角さう言ふのですから出掛けて行つたのです。元大藏大臣の家ですから相當立派な家でしたが、甘利君はスペイン語がお手のものですから、ロンドンで教育されたお嬢さんを私の相手に出して色々歡待して呉れたのですが、その時お嬢さんの話すのには「家のパパはどうも日本に行つた時の話がモウ七、八箇月にもなるがまだ盡きない。日本には歌舞伎座といふものがあるとか、日本のユニヴァーシティーは大したものだなんと言つて始終話します」とお嬢さんが言ふ。實に日本に一度來たといふことの爲に日本に感激して居る。それから又晩飯に招んで呉れましたが、私共は行かれないのですけれども、そんな好意を一片の旅行者に與へるまで日本最良です。だから私は何でも外國の有力者を日本に招いて實際を見せるのが一番良いと思ひます。ペルーからも今文化經濟使節が來て居ります、丁度アメリカ

を通つて同じ龍田丸で歸つて来たのであります。非常に肝膽相照して上陸する前から非常な日本最良になつて居りますから、これも非常な日本最良になつて歸るだらうと思ひます。御承知のやうにリマで汎アメリカ會議が來月から開かれますので、勿論ルーズヴェルト大統領も出て行くでせうが、又アメリカが色々宣傳をしてもペルー人達が俺は最近觀て來た、日本はさうぢやない、かうだといふことで、辯解して呉れたら宜いだらうと思ふし屹度さうあると信じてゐるのであります。

大體皆拓務省御主管の事で御承知のことと思ひますから、その國々の面積とか人口といふやうなことはお話申上げなかつたのですが、私が通過して來た國々のことを細かく申せば限りがありませんけれども、大體こんな程度でやつて來ました。併し前から申しますやうに何と言つても英米依存ですから、英米から睨まればその國の經濟は成立たないのですから、どんなに日本を崇拜し頼りにする心持がありません。英米が依然としてリードして居る間は、さう簡単に日本の力が延びて行くことは出來ないと思ひます。それから私は貿易振興といふことも可なり困難だと思ひます。ウルグアイも非常な片貿易になつて居るやうであります、これも今頻りに問題になつて居る、他は段々日本が寧ろ輸入超過になる位物を買つて居るやうになつて居るのであります。チリーもペルーもさうであります、ペルー棉花の關係もさうであります、貿易振興といふことも中々容易なことぢやないと思ひます。併しかういふ情勢ですから私は時

れば——時到ればと言ふよりも日本の力が本當に興隆して來て力強い大きな日本の國力の充實といふことが出來て來ますと、中南米は翕然として日本に來るものだ、かう考へられてならぬのであります。だから今中々國歩艱難な色々な事情にあり、英米を向ふに廻して直ぐ經濟戰をやるといふことは中々出來ることぢやないと思ひますが、併し兎に角、日本の力がぐんと伸びて來れば翕然としてこれ等を惹付けることが出来るのだから捨石でも今はやつて置くべき時だ、今直ぐ役に立つのではないからそんなことは放つて置け、そんなことはせんでも宜いといふことを言はずに、ドン／＼捨石でも宜いからやつた方が宜いのだ。又今度ペルーから來られるリバアグエロといふ元總理大臣がありますが、この人は考古學者で非常な思想家で一つのファツシズムを信仰して居る人であります。この人が向ふで私を態々ホテルへ訪ねて呉れ、晝飯にも招待されましたが、この人が若し日本に來て日本が防共の第一線に立つて世界の人類を救ふ爲に、この聖戰をやつて居るのだと本當に理解して行つて、學者的な立場からペルーあたりで呼び掛けると非常な力だと思ふ。文化經濟團體の使節よりもこの一人の學者の方が非常な力になるかも知れない。日本は一年に人口百萬も殖えるのでドン／＼捨石を打つて各國との親善政策に力を入れて、我國の國民が海外に發展する基礎を今の中に築いて行く、目先直ぐ役に立たぬからまあやめて置くといふことでなしに、中南米に對する對策はお講じになることが必要であると思ひます。さういふ點は外務省なり拓務省なりが本當に

一致してやつて戴けば非常に宜いのぢやないか、僅かの金を以て捨石を打つて行くといふことが、將來どれ位大きく働くか分らないといふやうな心持が致すのであります。何としても興隆日本の力、實力の問題に結論は來ると思ひますけれども、併し日本としては非常に面白い將來が懸つて居るのが、この中南米であると言はれてならないのであります。さういふ點で御考慮を願ひたいと思ひます。

餘り長くなりますからこれで私の話は一應終りと致しまして、何か御質問でもございましたら精々お話申上げること致します。

(質問 應答)

問 國民道徳の骨子とでも申しますか、どういふ點を南米諸國では國民道徳の骨子として居りますか。

答 これは時間がないから申上げなかつたですが、要するに前住インデアンの所にスペイン人が來てブラジルはポルトガル領であつてポルトガル人ですが、ポルトガル人にしてもスペイン人にしてもラテン系の人が入つて來て居る。ラテン系の人間は非常に感情的であり利他的であり享樂的である、さういふ所に入つて來た。だからバナナ十本も植ゑて置けば食つて行ける程、生活が樂なんですから植民地氣分になる、全體は非常に享樂的で惰弱です。だから本當に民族的には頼みになるといふ氣はしません。これからはどうしても民族の道徳心の向上、勤勉心の向上といふ精神運動が猛烈に起つて來なければこの民族は私は大發展はしないとさへ思ふ位です、それが段々起つて來て居る。それにガテマラ、コスタリカが、私は非常に教育の問題に面白味を持つて居りますが、さういふ精神運動を起す方面に行く、ヴァルガスはこれから始めるだらうと思ふ。この間のペルーの經濟使節團のフェンテ團長などでも船の中で頻りに言ふのだが、二、三日目でしたが非常に驚いたことは實に日本の船内の統制がよく取れて居ることである。非常に規律整然で上下總て統制が取れて居る。殊に驚いたことは―彼は軍人ですからさういふことが能く分る―アメリカが文化が發達して居るといふけれども、アメリカの船に乗つた時と日本の船に乗つた時と全然氣分が違ふ、これは何から來て居るかと言ふと日本の教育といふことに淵源して居る。私は日本に行つたら日本の教育のことを確つかり見たいと言つてゐた。それは良い所に氣

が付いた、國民精神の淵源といふことは日本には特殊のものがあるので、さう簡単に眞似ることは出来ないけれども、これは日本の教育の結果だから教育の實際を能く見給へといふことを言つたですけれども、あゝいふ民族性ではいかぬといふことは段々氣が付いて來て居るのです。併しまだ今では賭博は打つし、女とは遊ぶし夜ふかしはするし、民族としてはなつてゐません。これは中南米押しなべてさうです。

問 さういふ國に於て日本の日本道徳を少し眞似させることが必要ですね。

答 さうです、だから何處が強くなるか何處が良くなるかといふことは、私は精神運動が猛烈に起つて來る所が一番強くなつて來ると思ふのです。さうなると中南米の小さい所は小さい所で徹底するですから、コスタリカなどは面白いと思ひます。田舎に行つても一番良い建物は日本と同じやうに學校の建物ですから、さういふ所は目覺めて來て居るのです。非常に豐壤の爲に自然怠惰なんですね。

問 さうです、日本人はどうしてあんなに勤勉なんだらうか、何を樂しみに生きて居るのだらうか、と日本人の働くのを感心して居るです。

問 ラテン系の民族思想とそれから天惠的影響ですナ。

答 それに植民地氣分といふものがあるのです。

問 話が飛びまして失禮ですが、主としてブラジル以外で二世問題で向ふの第一世が希望して居るやうなことは総合的にどんなことでせうか。

答 希望して居ると言つても目途が立たぬです、ただ悩んで居るのです。子供のことを考へるとモウ日本に歸つてしまはうかと思ひます、といふ人が非常に多いのです、それはいかぬと私は頻りに言つたのです、子供のことは子供のことで別に考へたら宜いぢやないか。併し若し私が私の子供をブラジルなりペルーに置いたとして考へて見ると、子供が大きくなつて相當教育しなければならぬといふことを考へると、自分自身の子供に對してどうして宜いか判断が付かぬと同じやうに、どうしたら宜いかただ悩んで居るのです。ペルーやブラジルに置いて教育を受けペルー人やブラジル人のやうになつてはいかぬ、その方で教育をやるべしとペルー人やブラジル人のやうに怠惰な教育になつてしまふ、あゝなつてしまつたら自分の後を繼がして一體どうなるか、といふことを考へると非常に心配なんです。それなら日本へ子供を連れて引上げて餘生を送るといふことにするか、併しさうまではしたくない、これまでに建設したのだからさうはしたくない、其處に非常な悩みがある。どうしたらいいでせうか、子供のことを考へる時にモウ實に煩悶しますといふことを能く訴へられます。

問 二世の問題は中々重要な大きな問題ですね。

答 一率には言へないのですが、親が多少でも餘裕があつて子供のことを本當に氣を付けて行くだけの頭がある人であるならば、向ふで教育しても私はやり得ると思ふ。大學を出すまで向ふの學校で教育をズツとやつても、家庭に歸つたら日本的のものを親父が喧しく言つて注ぎ込む。私はペルーでさういふ人を見たのです。一遍も日本に歸つたことがないといふが、實に禮儀が正しくて兎に角何かの機會があれば私等の所に伴つて來て、丸山先生に睨んで貰つて來いといふこ

とで態々と子供を伴れて来る。さういふ風に注意をして居る親はことある毎に日本的なるものを家庭で植付ける。だから相當の餘裕があり能力のある人ならば、日本的なものを家庭で教育してやる、佛様を毎朝拜ますとか神様を拜ます、さういふことをやり得るならば向ふで教育しても宜い。北米では幾らさういふ風に教育しても、白人並に扱ひはしないからこれは考へ直さなければならぬが、併し中南米では日本人はもて、あれだけ尊敬されて居るのだから、君等の子供が大學を出て大統領になるまでやつたら宜いぢやないか、それだけに教育してやれぬことはないと言つたのですが、北米の子供のことを考へると君等が子供のことを考へるとは一寸違ふ。併しそれなら結論はどうするかと言ふと、一寸早過ぎるから言はぬけれども、君等の子供の中から大統領を出すといふ態度でやつて行つたら宜いぢやないか、といふことを言ふのですが、併しそれは特殊の餘裕のある人にだけ言へることで、野良に出て寸暇も惜んでやつて居る農夫にそんなことを言つても出来ない。それは餘裕がない、日本人の小學校の先生に教育を委してやつて居る、併しこれは心配するには及ばぬ、五人でも十人でも集めて先生を廻らせて教育して行けば宜いぢやないか、父兄も少し注意して通常の読み書き位は何處の親でも教へられぬことはない、學校で教へてはいかぬといふなら、家庭で教へてやれば宜いぢやないか、それ位の融通は幾らでも付くぢやないか、と言つて來ましたのですが、本當に父兄が確つかりして居れば、その問題は幾らでも解決が付きますが、それを全體に望むことは不可能です。

問 今のお話で中南米の方はハワイとかカリフォルニアと違つて教育宜しきを得ればその才能を伸ばし得るといふお話でしたが、これは非常に根本的な問題だらうと吾々も考へて居るのですが、將來の見透しはあるぢやないかといふやうな氣

がするのですが、如何でせう。

答 在留の有力な人などは伸びて行く方面にドン／＼努力しなければいかぬと思ふ。今ブラジルでも大學を出た人が三人かあります。山縣君の子供が二人出て居る。私はそれと話をしましたが、弟の方は將來の見當なども非常に宜いのです。重工業の方面で結ついて將來その方面でやりたいと言つて居りましたが非常に宜いのです。伸びて行く方面もドン／＼考へてやらなければいかぬ、どうせ今の大統領だつてスペイン人の子孫ではない、今度來て居るペルーの副團長の外務次官なども六分位はインヂアンの血です。さういふ人種的偏見がない所に伸びて行く途がある。日本人は厭やなものだとも思はれて居らぬし嫌はれても居らぬ。それを向ふに居る先覺の士がドン／＼開拓して行くことが必要であると思ふのです。これは私は向ふの一、二の人に話しました。

問 さういふ公職に段々就けるですか。

答 まだ公職に就ける程の時代になつてゐないので、ブラジルではまだ漸く大學を出たのが三人ですから……。

問 その大學を出た三人はどういふ職業を持つて居るのですか。

答 兄貴の方は建築科をやつたのでブラジル人と共同で建築請負設計をやつて居る。それから醫者が一人居り法學士で辯護士が一人居る。

問 さういふ日本人が辯護士をする場合に、皆向ふの辯護士と同じやうな考で事件を持つて來ますか。

答 二年程前に出たばかりで今まだ出發點なんです。それがぐん／＼力を伸ばしてあれに頼めば巧く解決出来るといふこ

とになれば、ドン／＼ブラジル人でも事件を持つて来るだらうと思ひます。其處が力の問題です。今大事な時ですから其處を巧く開拓しなければいかぬといふことを言つて来たのです。其處はどうせ力の問題で、あんな怠惰な奴でしよつちゅう酒を飲んだり踊つたりして居る奴であるから、茲で本當に日本人がやつて行かなければならぬ、百姓でも他の國の奴が出来ない程日本人は研究工夫して努力してやつて行かなければならぬ。他の事でも日本人は必ず行けるのだ、實力があれば他の者はひれ伏して来る、だから大統領になれるぢやないかといふやうなことを、若い者と一緒に話す時には猛烈に云つて来たのです。

問 これは御存じだらうと思ひますが、この間廣島の高等學校で一緒だった牧といふ奴が、長くブラジルへ行つて居りまして十何年目に戻つて来たのです。彼はその點に於て失望して歸つて来たのです、向ふで色々な批評があるやうですが、彼が言ふ通りの本當の考で戻つて来たのかどうか知りませんが、牧はその點で非常に悲觀して居るのです。あれがブラジルに行つたのは丸山さんのお話の通りの考で行つた、寛門下の奴ですが、ブラジルに行つて俺は大統領にならぬでも俺の子供は立派な政治家にしてやるといふ考で行つたのです。この間戻つて来ての話では、やはりいかぬ。向ふの國の動きを今迄見て居ると、あの南米の國の人間が段々世界的な新しい文化の刺戟を受ける、隨て非常に一國としての文化と教育と集結力を持つて来る。さうするとやはり日本人が彼處へ行つて彼處の連中に交つて公けの地位に就くといふことはどうしても入れられ難い。アメリカやハワイと同じやうな事になつて来る傾向が段々強くなつて来る。さういふ所を見ると俺はとも子供を彼處で教育して彼處で男にすることは出来ぬ、と見切つたから日本で教育する爲に

子供を伴つて戻つて来たと言つて居りました。

答 さういふことが起つて来ると思ひます、ナシヨナリズムの思想はまだ強くたつて来るだらうと思ふのです、これは色々なことに現れて来て居ります。さういふことになるとうして異民族の間に出来た子供だからといふので自然排斥運動などが起つて来るだらうと思ふのですが、併し北米のやうに根本的に人種的偏見を持つて居る所とは違ひますから、實力で押しで行き得る餘地はあると思ふのです。だから北米と違ふから君等は非常な決心で努力する必要がある。君等が先驅を爲すのだから非常に大事である、君等がやる能力がないといふことになれば日本人が伸びて行く一番の障碍になる。一つ大いにやり給へといふ論をやつて来たのですが、併し私のやうに一寸した旅行で感じて来たこと、長く居られる牧君の言はれることゝは違ふでせうが、少くともさういふ傾向はあると思ふのです。

問 北米とはそれは幾らか違ふでせうね。
答 確に違ひます。

問 私はかういふ考を持つて居つて、少し違つた考ですから丸山先生に一つ批判して貰ひたいと思ふのですが、最近ブラジルで教育令を改正して今迄十二歳だったのを十四歳までに上げた、これはナシヨナリズムの現れである、子供の教育などは益々困難になつて来て將來を考へれば洵に寒心に堪へないものがあるといふことが、一般在留民の中に深刻に響いて居る。新聞記事でも先つきお話のやうにさういふ論説を出すやうな傾向になつて来て居る。けれどもそれは在留日本人の實力が年と共に伸び行きつゝある現實といふものをまだ見てみない時の考へ方です。今から五年、十年前のやう

にただ平面的に百姓の移民が行つて野良仕事をやつて居るといふやうな時代に、あゝいふ法律が出れば恐らくさういふ結果になるかも知れないが、今日の二十萬の人間の働き工合、活動状況、日本内地の産業とも色々な意味に於て關聯して日本との距離が時間的に非常に短縮されて来た、殊に又日本の國際的な實力が非常に伸びて居る、ブラジルなどは經濟的産業的に關聯して、貿易とか各種の仕事が昔と變つて非常に投資的になつて来て在留日本人の實力といふものが平面的だつたものが立體的になつて来た、立體的になつて来ると彼處で活動する日本人の社會的地位や、頭も實力があり又人格もある人間が内地から澤山行つて活動するやうにもなり、又該地に居る人間でも働きのある人間が漸次引上げて来る。五、六年前に向ふに行つた當時と昨年あたり歸る時とは非常な差がある、結局日本人の進出は青年層にまで侵潤して行つて青年が日本に對する認識を改めて来る。従來はポルトガル語しか讀めないものが日本語の新聞や雑誌を讀めなければ肩身が狭くなつて来た。さういふ譯で二、三年前までは日本語を使へなかつた青年がドン／＼日本語を使へるやうになつて来る。かうなつて来ると日本人の實力と日本人の在留邦人の力が經濟的にも深く根が伸びて行く、隨て彼處に於ける大きな日本人の社會といふものが一つの大きな力でぐつと伸び上つて来る。このぐつと伸びて来る力そのものがブラジルの教育令そのものから超越して、彼處に本國と同じやうな思想を植付けて將來子供達を教育して行く力になつて居る。この力が將來相當強く伸びつゝあるから、今言つたやうな教育令がどうのからうといふことは非常に小さな問題であつて、片田舎の方で親は朝から晩まで働いて居るから、子供はブラジル風になつてしまふだらうといふことは別として、將來彼處に八十萬となり百萬となる在留日本人全部が墮落して行くといふことは、現在の實情から見ると

あり得ないやうに考へるのです。教育問題などもあの一片の法律などで杞憂する心配はない、といふやうに考へて来て居るわけです。所が一般新聞や彼處から歸つて来た或は向ふに留つて居る親達の話を聞くと、教育法があゝなつたから困るとか何とかいつ迄も植民地教育問題序論の話をして居つて、今のやうな實力が伸びて行く經濟現象とか社會現象といふやうな見地から問題を考へてゐない。さういふ工合で教育の點は心配はない、日本内地の力が國際的に伸びると丁度相關的に向ふに居る日本人の二十萬が段々伸びて行き又經濟的にも力が伸びて行く、隨て心配がなくなつて来るといふやうな觀方をして居るのですが、それに對してどうでせうか。

答 全然心配がないと言つしてまふといふことは樂觀に過ぎますけれども、私も實はさういふ風に思つて居るのです。この間神戸の商科大學の田崎學長が非常にブラジルの教育問題に就て研究をして居られる。それで私は今あなたの言つたやうな話をしたのですが、個々の意見はあるが向ふはナシ。ナリズムで来るのだからこれはどうにも仕様がないぢやないか、今度の問題でも寧ろドイツやイタリーの卷添へを喰つて居るやうなわけで、努めて急激なる變化を與へないやうにして居るロー・アパイディングの國民だといふことを知らす必要があるのだから、餘り胡魔化しをやらぬ方が宜い、やらないでも此處まで来て居れば大丈夫だと思ふ。さういふ意氣で私は田崎さんあたりにもモウ少し青年運動をやつて貰つたら宜いと思ふ、その爲には田澤君などに向ふにやりたいと考へて居るのだと言つたら先生非常に共鳴されました。殊に私はブラジルでさういふ感じを抱いて、北米へ来て西海岸を二週間掛つて限なく歩いたのですが、實は驚いた。二十一年前サクラメントあの邊を歩いた感じとはまるで異つた感じを抱いたのです。殊に十年前から私は劍道を通して

彼處の二世に教育をしたいといふ運動を起して日本に居りながら北米武徳會總裁をやつて居るのですが、さういふことで二世の問題も能くは知りませんが、日本の國力の増進と在留民の力が出来た、丁度あなたが言はれるやうな空氣が起つて居る。曾ては何故俺はこんな色の汚い日本人に生れたかといふことを怨んで居つたやうな二世が、今は我日本人なりといふ誇を感じる位に急轉回して來て居る。さうなると日本語を一生懸命やれと言はれなくても、日本語を知つて日本の新聞を讀んだり雑誌を讀みたいといふ氣分になるから驚くべき勢で日本語熱が起つて居る。さういふことを経験して見ますと、確に私はブラジルでも社會的情勢といふものがうんと進んで行けば教育といふことを考へることは問題でない、アメリカでも現に出來て居るぢやないかといふやうな感じを持つて來たのですが、前には皆備けて早く歸れば宜いといふやうな考で汚い風をして居つたのが、今度行つて見ると何處から出て來る人も皆きちんとして居りますし、父兄の氣持でも變つて居る、子供が出來ても日本に歸つても仕様がな、皆二世の名前で自分の土地の上に自分の家を建ててゐますから昔のやうにをかしなものは建てない、立派なものを建てるといふのでサクramentoでもフレズノでも、日本人の所に行くと實に綺麗な家になつた、あれでは輕蔑しようと思つても輕蔑出來ぬ、兎に角力が出來た所に滿洲事變を通してこの日支事變を通して本當に日本の姿といふものが段々二世に解つて來た。これは非常なものだと思ふ。だから大局から言へば、一つも心配はないといふことは餘り樂觀に過ぎますけれども、そんなことは大したことはない、日本人の力が伸びて行けばそんなことは何も問題はないのだといふことは私も全く同感です。田崎先生にもそれを述べたのですが、何か教育普及會の仕事をやつて居つたといふ安藤君といふのが一緒に來て居りましたが、先生も餘りさうい

ふ意見には反對がなかつたです。

問 北米は滿洲事變前には床屋でも食堂でも日本人の店には客が來なかつた、滿洲事變以後床屋でも食堂でも日本人の店に平氣で入り出した、スツカリ變つてしまつた、それと同時に日本人の二世達に非常な自覺を興へた、これはブラジルでも大體さうです。だから小學校教育の問題でなくして、先つき先生が仰しやつたやうに、色々の青年教育とかスポーツとか藝術とか日本人青少年のソーシアル・ソリダリティを非常に強化して行けば、ひとりでに其處に日本人教育といふものが出來て行くと思ふのです。

答 今多羅間君がブラジル柔劍道聯盟長をやつて居る、さういふ關係で多羅間君が迎ひに出て呉れたのですが、いつかこの官邸であつたか前の官邸であつたか活動寫眞を映して中村藤吉といふ男に話させて聞いて貰つたことがあるのですが、今度實地のものを見て私は非常に感心して居るのです。實に特殊な劍道の教へ方で禮讓を尊び禮儀を重んじ元氣を吹き込む、一寸日本でも見ることが出來ない位の修業を二世がやつて居る、加州では五聯盟がある、ワシントン州とオレゴン州と一緒にして聯盟がある、支部が五十幾つかあるのですが、加州では七つか八つかの支部を合せて一つの聯盟を作つて居る、加州ではサクramento中央聯盟といふやうな聯盟本部をいゝ加減な都會を中心に置いて、大會をその聯盟が主催で各支部を集めてやる。モウ武徳會の試験を経て練士になつた者が五人も居ります、有能者は三百人位もある實にえらいことです。今度私は行つて敬服したのですけれども、父兄の信賴といふものは非常に深いのです。僅か二週間位の講習を受けて歸つて來て初めて自分の子供になつたやうな氣がしたといふ。今迄は朝起きてもグッドモーニングとも言

はずまるで自分の子で自分の子でないやうな気がして居た、所がそれを禮儀を喧しく言うて叩き込むものですから朝起きると「お父さん、お早うございます」と言ふから、初めて自分の子になつたやうな気がする。それで親父連中が「武道に依つて修練させなければならぬ」と言ふので、自分の方にやつて来て呉れといふことで非常な勢ひで支部が殖えたのださうです。私がまだシャツトルに着く前に奥田といふ人が會長をやつて居るのですが、その人から「武道大會だけは是非お出でを願はなければいけない」といふので電報を寄越すものですから、「それでは到着の日にやれ」と言つて電報を打つたのですが、五月一日にシャツトルに上つて西北部聯盟の大會をやつた。それで一緒に乗つて居る連中に「兎に角俺は總裁になつて四年目で今度初めて見るのだが皆も都合が付いたら来て呉れ」と言つて置いたのですが、お客さんの中では二人ばかり見に来たが、併し私が乗つてゐた目枝丸の船長も機關長もドクターも揃つて見に来て呉れましたが、私も本當に感激したのですけれども、兎に角大方二百人に近い青年男女が皆袴を穿いて凛々しい姿で出てホールの板敷の上でちゃんと正座をして號令を掛けてやるのですが、「鉢巻ッ！」と言ふと皆胴の下から鉢巻を出して締める、實に禮儀正しい一番初めは發聲運動からやる、目をつぶつて劍道の掛聲を發聲運動で號令を掛けてやり出す。それから基本教練といふのがあつて打込みの仕方などは號令でやる、上も下も全部揃つてやる、幼年部は幼年部、青年部は青年部、女子部は女子部でやつた、實に熱がある。この頃の日本の劍道は段々墮落して来るけれども、初めて北米の天地でそんな息の掛つた劍道を見ると實に眼頭が熱くなる。市川君も一高で劍道五段位やつた男だが、市川君も涙が出る位ですといふやうなことを言つて居つた。歸りには目枝丸の船長が「先生、私は長年アメリカ航路で来て居るのですが、かういふ

ことが行はれて居るとは思ひませんでした。今日は涙が出て仕様がありません。こんなに第二世が良く行つて居るかといふことを見て感激しました」と言つて居つたのですが、その訓練を経て行くと非常に禮儀正しくなつて来るのです。初めは劍道をやると日本人は好戦國民だといふやうなことで悪い影響を及ぼすぢやないかと思つて居つたが、劍道をやると子供が先生に對して言ふことを背くやうになる、成績が良くなる。そこで向ふのパブリック・スクールの先生達は感心して、大會をやると皆パブリック・スクールの講堂を貸して呉れるといふ位までに進んで、何かことがあると白人の子供に劍道の仕合を見せるといふことを先生がやる、中には先生が自分の子供を道場によこして練習させる位であります。要するに劍道を通して日本精神を叩き込む結果自分の子供が子供らしい子供になつて来るのを喜んでゐる。向ふでは大抵自動車を持つて居るから親父が子供を乗せて二十軒や三十軒の所はやつて來ますから、大會場へ行くと自動車が一ぱい並んで居る。其處では子供達に「お前等は劍道の技術を磨くのではない、之を通じて日本の本當の姿を叩き込むのだ」といふことを言ひ聞かせてやつて居る。これは北米の各地皆同じ型でやつて居る、實に偉いものです。今度ロサンゼルスを通過して五つの聯盟の實情を見て來ましたが、兎に角ただ講義だけではいかぬ、行を通して子供に叩き込むのが一番宜いと思ふのです。

(終)

387
158

昭和十四年一月二十日印刷
昭和十四年一月二十五日發行

(定價送料共金二拾錢)

著者兼本間善庫

東京市世田ヶ谷區上北澤町三丁目八七七

印刷者 松井方利

東京市深川區白河町四丁目一番地

印刷所 東京印刷株式會社

東京市深川區白河町四丁目一番地

發行所

東京市芝區芝公園四號地ノ四
財團法人 拓殖獎勵館

振替東京一四三三五〇番
電話芝三七九二、四四一一

終

財團法人拓殖獎勵館